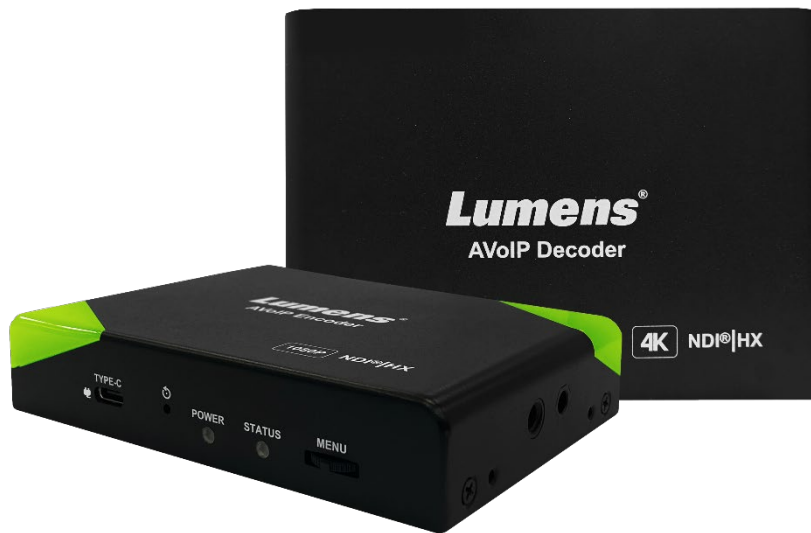


OIP-N40E/ OIP-N60D/ OIP-N60D, Dante AV-H AVoIP Encoder/AVoIP Decoder

ユーザーマニュアル-日本語



クイックスタートガイド、多言語ユーザーマニュアル、ソフトウェア、ドライバなどの最新版をダウンロードするには、Lumens ウェブサイトをご覧ください。 <https://www.MyLumens.com/support>

Contents

Chapter 1	製品概要	3
1.1	製品の特長	3
1.2	同梱品	3
Chapter 2	製品外観	4
2.1	入出力インターフェース	4
2.2	LED インジケータ	4
2.3	設置について	4
Chapter 3	接続例	5
3.1	ネットワーク AV 機器を活用した Web 会議ソリューション	5
3.2	USB 周辺機器を遠隔利用する Web 会議ソリューション	6
3.3	Voice Connect による自動映像切り替えソリューション	7
Chapter 4	OSD メニュー	8
4.1	OSD メニューの表示方法	8
4.2	OIP-N40E の設定項目	8
4.3	OIP-N60D/ OIP-N60D, Dante AV-H の設定項目	9
Chapter 5	Web GUI メニュー	10
5.1	Web GUI アクセス方法	10
5.2	OIP-N40E の設定項目	10
5.2.1	OIP-N40E - Dashboard	10
5.2.2	OIP-N40E - Stream	11
5.2.3	OIP-N40E - Source (Virtual USB 入力ソース設定)	16
5.2.4	OIP-N40E - Audio	18
	Audio In/Out:	18
	Stream Audio:	19
	Talk Back Audio:	20
5.2.5	OIP-N40E - System Output	21
5.2.6	OIP-N40E - System Network	22
5.2.7	OIP-N40E - System Date & Time	23
5.2.8	OIP-N40E - System User	24
5.2.9	OIP-N40E - System Security	24
5.2.10	OIP-N40E - Control	25
5.2.11	OIP-N40E - Maintenance	26
5.2.12	OIP-N40E - About	26
5.3	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H の設定項目	27
5.3.1	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - Dashboard	27
5.3.2	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - Source	27
5.3.3	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - Audio	29
	Audio In/Out:	29
	HDMI Audio Out:	30
	HDMI Audio Out:	31
	Dante Audio タブ(OIP-N60D Dante AV-H のみ):	32
5.3.4	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - Layout	33
	PBP Setting:	33
	PIP Setting:	34
	TV Wall Setting:	35
5.3.5	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System Output	36
5.3.6	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System Network	37
5.3.7	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System Date & Time	38
5.3.8	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System User	39

5.3.9	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System Security	40
5.3.10	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System Settings	41
	Voice Connect:	41
	Custom Image:	42
	CEC:	43
5.3.11	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - Maintenance Update	44
5.3.12	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - Maintenance Reboot	44
5.3.13	OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - About	45
Chapter 6	トラブルシューティング	46
Chapter 7	Copyright Information	47

Chapter 1 製品概要

1.1 製品の特長

本製品は、高品質な映像と音声を経路で効率的に伝送する AV over IP ソリューションです。主な特長は以下の通りです。

- ✓ **多彩なプロトコルに対応:** NDI HX、RTSP に加え、Dante AV-H (対応モデルのみ) など、主要なストリーミングプロトコルをサポートしており、柔軟なシステム構築が可能です。
- ✓ **USB over IP による長距離伝送:** USB over IP 機能を搭載しており、会議室の離れた場所に設置された USB カメラの映像を、IP ネットワークを介して PC へ長距離伝送することができます。
- ✓ **PoE 給電対応:** PoE をサポートしているため、LAN ケーブルを介してネットワーク経由で電源供給を受けることができ、設置の自由度が向上します。

OIP-N40E の主な機能

- ✓ **Dante Ready 対応:** Dante AV-H および Dante Audio に対応する Dante Ready をサポートしています (※別途アクティベーションが必要です)。
- ✓ **USB Type-C ケーブル 1 本での Web 会議ソリューション:** PC と USB Type-C ケーブル 1 本で接続するだけで、IP カメラ映像の取り込み、DisplayPort Alternate Mode を使用した PC 画面の伝送、および Dante を使用した音声入出力が可能です。

OIP-N60D (Dante AV-H) の主な機能

- ✓ **多彩な画面レイアウト:** PBP (ピクチャー・バイ・ピクチャー) や PIP (ピクチャー・イン・ピクチャー) などの表示モードを備えており、複数の映像ソースを 1 つの画面に同時に表示できます。
- ✓ **ビデオウォール機能:** 最大 3x3 のディスプレイを組み合わせたビデオウォールに対応しており、大画面での映像表示が可能です。
- ✓ **Voice Connect モード:** VC-TR60A 等の対応カメラでの音声検知をトリガーに、最大 4 台までのソース映像を自動的に切り替えます。カメラ本体が音声を検知するため、外部システムなしで発言者に合わせたボイスストラッキング運用が可能です。

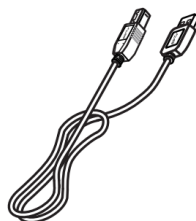
1.2 同梱品

本製品は以下の製品が同梱されています。

OIP



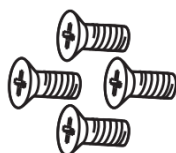
USB 2.0 cable (1.8m)
(Type A Type C)



Locking metal plate (x2)



M3 metal plate screw
(4x4)



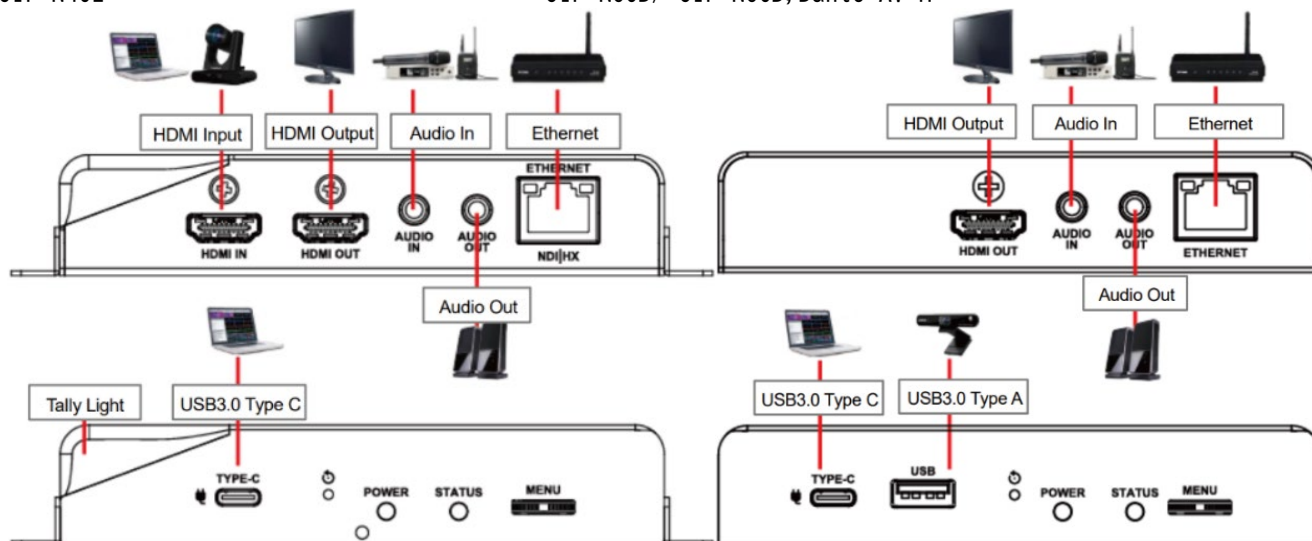
Chapter 2 製品外観

2.1 入出力インターフェース

本章では、本製品の入出力インターフェースについて説明します。

OIP-N40E

OIP-N60D/ OIP-N60D, Dante AV-H



PC への USB 接続は伝送速度が 10Gbps 以上で、DisplayPort Alternate Mode に対応している USB Type-C ケーブルを使用してください。

2.2 LED インジケータ

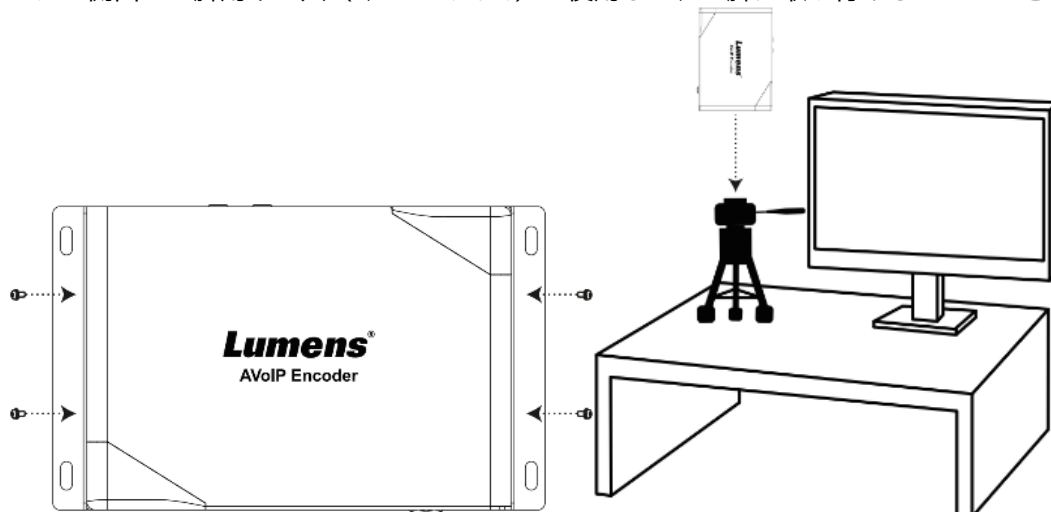
本章では、フロントに設置されている LED インジケータの動作について説明します。

現在のステータスに応じた各 LED の挙動を以下に示します。

Status	Power LED	Standby LED
起動処理中	赤点灯	消灯
動作中	赤点灯	緑点灯

2.3 設置について

- ✓ 付属のマウントプレートの使用方法
 1. 付属のマウントプレートを、エンコーダー/デコーダー本体の両側面にあるネジ穴に、ネジ (M3 x 4) を使って固定します。
 2. 設置する場所のスペースに応じて、マウントプレートを取り付けたエンコーダー/デコーダーをテーブルやキャビネットに固定します。
- ✓ 三脚の使用方法
エンコーダー側面の三脚用ネジ穴 (1/4" -20 UNC) を使用して、三脚に取り付けることができます。



Chapter 3 接続例

本章では、OIP シリーズのエンコーダーとデコーダーを使用した接続例を紹介します。

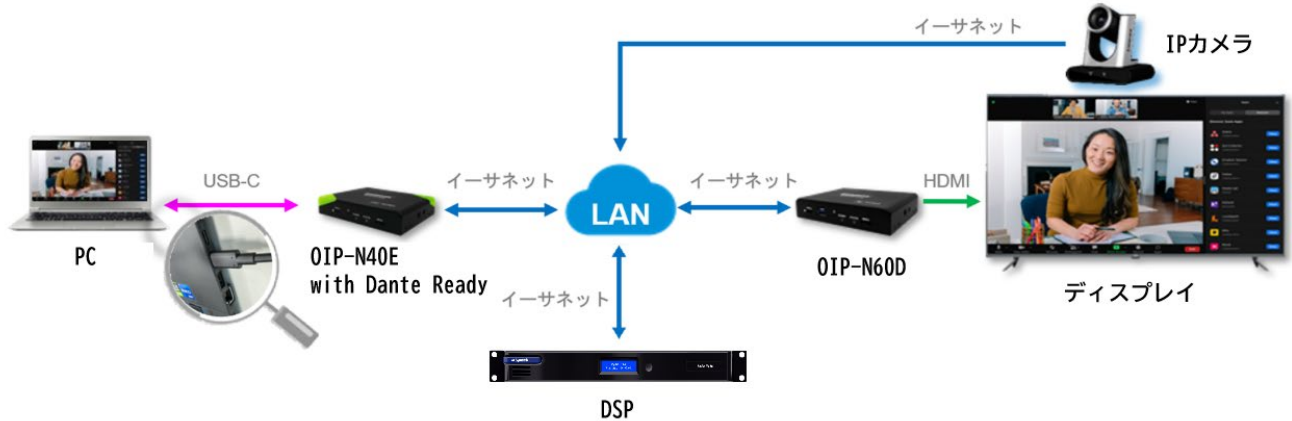
3.1 ネットワーク AV 機器を活用した Web 会議ソリューション

本構成は、お使いの PC と USB Type-C ケーブル 1 本で接続するだけで、高品質な映像の送受信を実現する Web 会議での使用に最適なソリューションです。PC 画面の伝送には、USB Type-C ケーブルを使用した DisplayPort Alternate Mode を使用します。

OIP-N40E は Dante Ready に対応しており、別途アクティベーションを行うことで、Dante ネットワークの音声信号も同じ USB Type-C ケーブルを介して PC へ送受信することが可能になります。

また、複数の IP カメラの映像を外部制御などで切り替えて PC へ送信することも可能です。

【構成図】



【概要】

このシステムでは、映像と音声それぞれ以下の経路で伝送されます。

映像経路

- ✓ PC 画面の表示 (PC → ディスプレイ)
 1. PC の映像は、USB Type-C で OIP-N40E に送られます。
 2. OIP-N40E は映像をエンコードし、ネットワークを経由して OIP-N60D へ伝送します。
 3. OIP-N60D は映像をデコードし、HDMI でディスプレイに出力します。
- ✓ IP カメラの Web 会議利用 (IP カメラ → PC)
 1. IP カメラの映像は、ネットワークを経由して OIP-N40E に送られます。
 2. OIP-N40E は、その映像を USB Type-C を介して PC に送ります。
 3. PC 側では OIP-N40E が「仮想 Web カメラ」として認識されるため、Web 会議ソフトで高画質な IP カメラ映像が使用できます。

音声経路

音声は、PC とマイクやスピーカーが接続されている DSP の間で、OIP-N40E と Dante ネットワークを介して送受信します。

- ✓ PC 音声の送出 (PC → DSP)
 1. PC の音声は USB Type-C で OIP-N40E に送られます。
 2. OIP-N40E は音声を Dante 信号に変換し、ネットワーク経由で DSP に伝送し、室内のスピーカーから拡声します。
- ✓ マイク音声の受信 (DSP → PC)
 1. DSP で処理されたマイク音声は、Dante 信号としてネットワーク経由で OIP-N40E に送られます。
 2. OIP-N40E は、その音声を USB Type-C を介して PC に伝送します。

【設定方法】

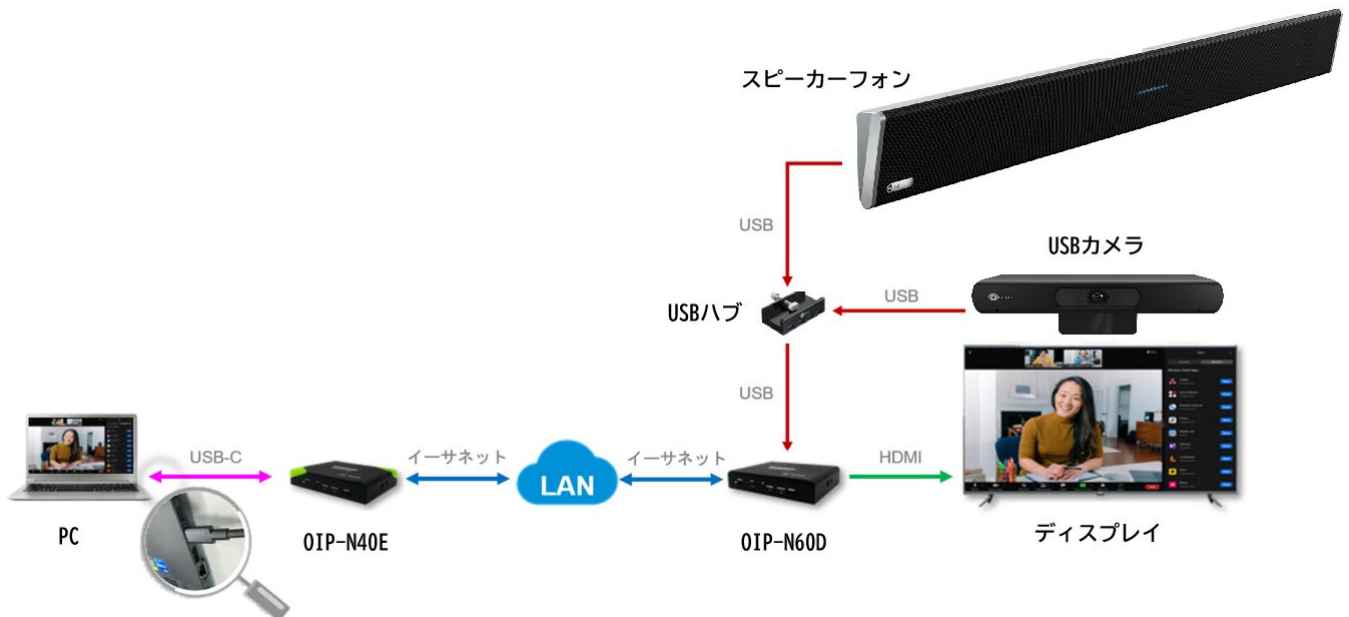
この機能を使用するには、OIP-N40E と OIP-N60D の両方で「Virtual USB」機能を有効にする必要があります。

- ✓ OIP-N40E の設定
「[5.2.5 OIP-N40E - System Output](#)」を参照してください。
- ✓ OIP-N60D の設定
「[5.3.5 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System Output](#)」を参照してください。

3.2 USB 周辺機器を遠隔利用する Web 会議ソリューション

本構成は、LAN ケーブルを利用して USB デバイスを長距離延長する「USB over IP」ソリューションです。PC と OIP-N40E は USB Type-C ケーブル 1 本で接続するだけで、会議室の遠い場所に設置された USB カメラやスピーカーフォンを、PC に直接接続しているかのように利用できます。PC 画面の伝送には、USB Type-C ケーブルを使用した DisplayPort Alternate Mode を使用します。

【構成図】



【概要】

このシステムでは、映像と音声それぞれ以下の経路で伝送されます。

- ✓ USB 周辺機器の遠隔利用 (USB over IP)
 1. USB カメラやスピーカーフォンを、OIP-N60D の USB ポートに接続します (USB ハブも利用可)。
 2. OIP-N60D は、接続された USB 機器の信号をネットワークデータに変換し、LAN 経由で OIP-N40E へ伝送します。
 3. OIP-N40E は受信したデータを USB 信号へ戻し、USB Type-C を介して PC に送ります。これにより、PC は遠隔にある USB 機器を直接接続されたデバイスとして認識し、Web 会議などで使用できます。
- ✓ PC 画面の表示 (PC → ディスプレイ)
 1. PC の映像は、同じ USB Type-C ケーブルで OIP-N40E に送られます。
 2. OIP-N40E はその映像をネットワーク経由で OIP-N60D へ伝送します。
 3. OIP-N60D は受信した映像を HDMI でディスプレイに出力します。

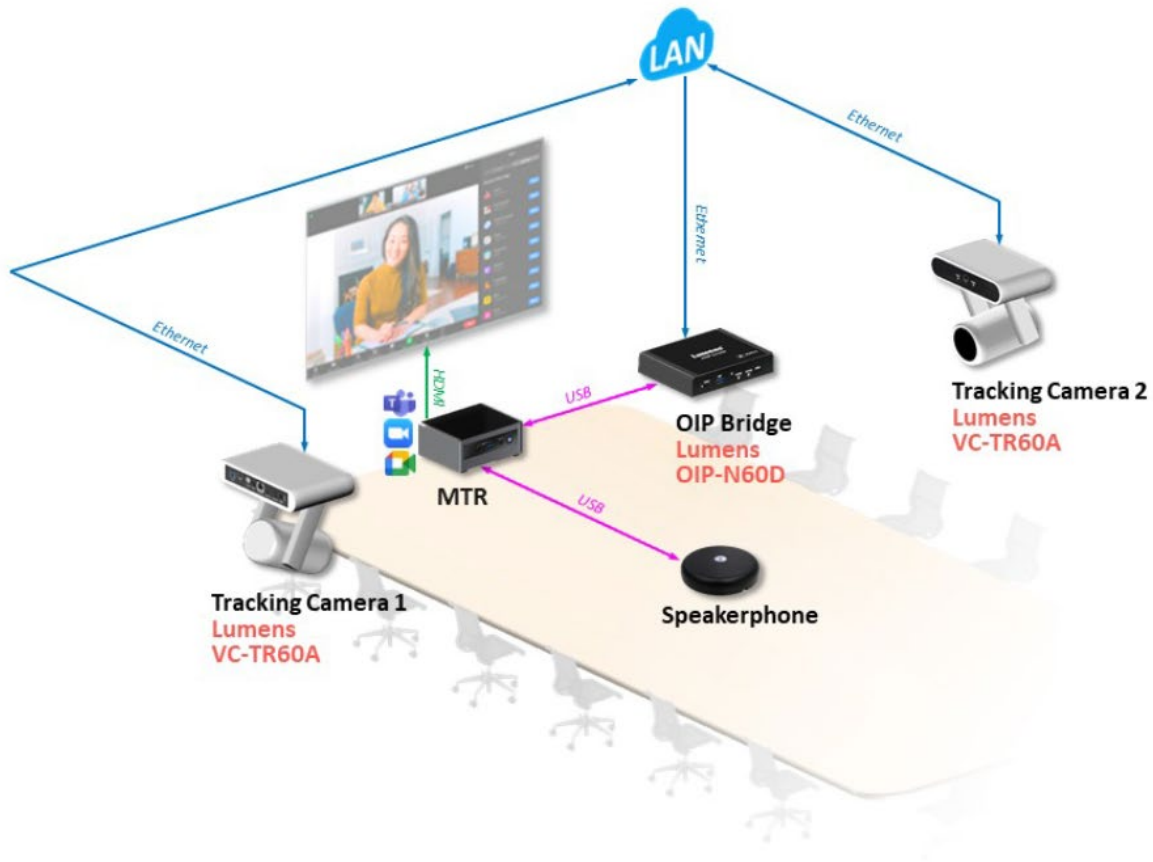
【設定方法】

この機能を使用するには、OIP-N40E と OIP-N60D の両方で「USB Extender」機能を有効にする必要があります。

- ✓ OIP-N40E の設定
「[5.2.5 OIP-N40E - System Output](#)」を参照してください。
- ✓ OIP-N60D の設定
「[5.3.5 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System Output](#)」を参照してください。

3.3 Voice Connect による自動映像切り替えソリューション

本構成は、対応カメラ VC-TR60A のマイクが検知した発言者の音声レベルに基づき、映像を自動的に切り替えるボイストラッキング・ソリューションです。外部の制御システムを介さず、OIP-N60D 単体で最大 4 台までのカメラ映像をリアルタイムに切り替えることが可能です。



【概要】

このシステムでは、カメラとデコーダー間で以下の制御および映像伝送が行われます。

1. 音声検知と判定 (VC-TR60A → OIP-N60D)
接続された各カメラが周囲の音声を検知し、その音量レベル情報をネットワーク経由で OIP-N60D へ送信します。
2. 自動切り替え (OIP-N60D → ディスプレイ)
OIP-N60D は受信した音量情報を基に、最も大きな音声を検知しているカメラの映像へ自動的に出力を切り替えます。

【高度な運用制御】

- ✓ 会話検知： 2 名以上の話者が交互に発言している状態を検知すると、頻繁な切り替えを抑えるために、あらかじめ指定した全景用カメラや、VC-TR60A のパノラマレンズ映像へ自動で切り替えることができます。
- ✓ 無音時の動作： 全員が沈黙した際、特定の個人を映し続けるのを避けるため、一定時間経過後にあらかじめ指定した全景用カメラや、VC-TR60A のパノラマレンズ映像へ自動で切り替えることができます。

【設定方法】

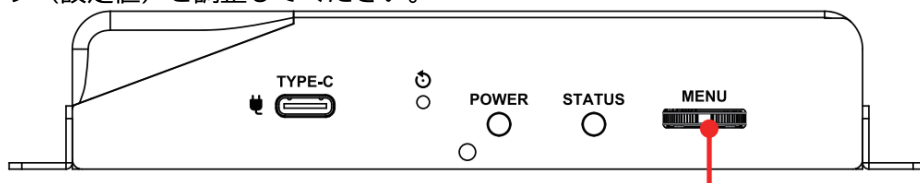
この機能を使用するには、OIP-N60D 側で「Voice Connect」の設定を行う必要があります。

- ✓ OIP-N60D の設定
「[5.3.10 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System Settings](#)」の Voice Connect の項目を参照してください。
- ✓ 対応プロトコル
本機能による切り替え制御は RTSP プロトコルのみに対応しています。NDI や Dante AV-H 等の映像ソースは制御対象外となりますのでご注意ください。

Chapter 4 OSD メニュー

4.1 OSD メニューの表示方法

本機の HDMI OUT ポートをディスプレイに接続します。次に、本体のメニューダイヤルを押して OSD（オンスクリーンディスプレイ）メニューを表示させます。メニューダイヤルを操作してメニュー項目を選択し、各種パラメータ（設定値）を調整してください。



回す：設定値の調整や、メニュー項目間の移動を行います

4.2 OIP-N40E の設定項目

本章では、OIP-N40E の OSD メニューを解説します。

メインメニュー	サブメニュー	パラメーター	機能概要
Encode	Stream Type	NDI HX/ RTMP/ RTMPS RTSP/Dante AV-H	ストリーミング方式を選択します。Dante AV-H を使用するには、別途 Dante Ready のアクティベーションが必要です。
Input	Video Type	HDMI/ DP	映像の入力ソースを以下のいずれかから選択します。 ✓ HDMI: HDMI 入力に接続された機器をソースとして使用します。 ✓ DP: USB Type-C ポートに接続された機器をソースとして使用します。 ✓ Auto: 接続された映像ソースを自動で検出します。優先順位は以下の通りです。 ▶ 起動時: 起動時に両方のポートに機器が接続されている場合、HDMI が選択されます。 ▶ 動作中: どちらかのソースが有効な状態でもう一方を接続した場合、先に接続されていたソースが維持されます。
Network	IP Mode	DHCP/ Static	IP アドレスの取得方法を DHCP（自動取得）または Static（固定 IP アドレス）から選択します。
	IP Address	-	IP Mode で Static（固定）を選択した場合に、本機の IP アドレスを設定します。
	Subnet mask	-	IP Mode で Static（固定）を選択した場合に、サブネットマスクを設定します。
	Gateway	-	IP Mode で Static（固定）を選択した場合に、デフォルトゲートウェイを設定します。
Status	-	-	現在のステータスを表示します ステータスには、IP アドレス、MAC アドレス、ファームウェアバージョンが含まれます。

4.3 OIP-N60D/ OIP-N60D, Dante AV-H の設定項目

本章では、OIP-N60D/ OIP-N60D, Dante AV-H の OSD メニューを解説します。

メインメニュー	サブメニュー	パラメーター	機能概要
Source	-	-	リストから受信するソースを選択します。
Output	HDMI Audio From	Off/ Follow Stream/ Follow Routing/ Follow Dante	HDMI 出力端子から出力する音声ソースを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ Off: 音声を出力しません。 ✓ Follow Stream: 現在選択されている映像ソース（ストリーム）に含まれる音声を出力します。 ✓ Follow Routing: 将来対応予定の機能です。 ✓ Follow Dante: Dante 経由で本機にサブスクリプションされた音声を出力します。 ※Follow Dante の設定は OIP-N60D, Dante AV-H でのみ有効です。
	Audio Out From	Off/ Follow Stream/ Follow Routing/ Follow Dante	Audio Out（音声出力端子）から出力する音声ソースを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ Off: 音声を出力しません。 ✓ Follow Stream: 現在選択されている映像ソース（ストリーム）に含まれる音声を出力します。 ✓ Follow Routing: 将来対応予定。 ✓ Follow Dante: Dante 経由で本機にサブスクリプションされた音声を出力します。 ※Follow Dante の設定は OIP-N60D, Dante AV-H でのみ有効です。
	HDMI Output	By Pass Native EDID 4K@60/ 59.94/ 50/ 30/ 29.97/ 25 1080p@60/ 59.94/ 50/ 30/ 29.97/ 25 720p@60/ 59.94/ 50/ 30/ 29.97/ 25	HDMI 出力の映像フォーマット（解像度・フレームレート）を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ By Pass: 受信しているストリーム映像の信号フォーマットをそのまま HDMI 出力します。 ✓ Native EDID: 接続先ディスプレイの EDID 情報を基に出力フォーマットを自動調整します。 ✓ 各解像度: 選択した解像度・フレームレートで HDMI 出力します。
Network	IP Mode	DHCP/ Static	IP アドレスの取得方法を DHCP（自動取得）または Static（固定 IP アドレス）から選択します。
	IP Address	-	IP Mode で Static（固定）を選択した場合に、本機の IP アドレスを設定します。
	Subnet mask	-	IP Mode で Static（固定）を選択した場合に、サブネットマスクを設定します。
	Gateway	-	IP Mode で Static（固定）を選択した場合に、デフォルトゲートウェイを設定します。
Status	-	-	現在のステータスを表示します。ステータスには、IP アドレス、MAC アドレス、ファームウェアバージョンが含まれます。

Chapter 5 Web GUI メニュー

5.1 Web GUI アクセス方法

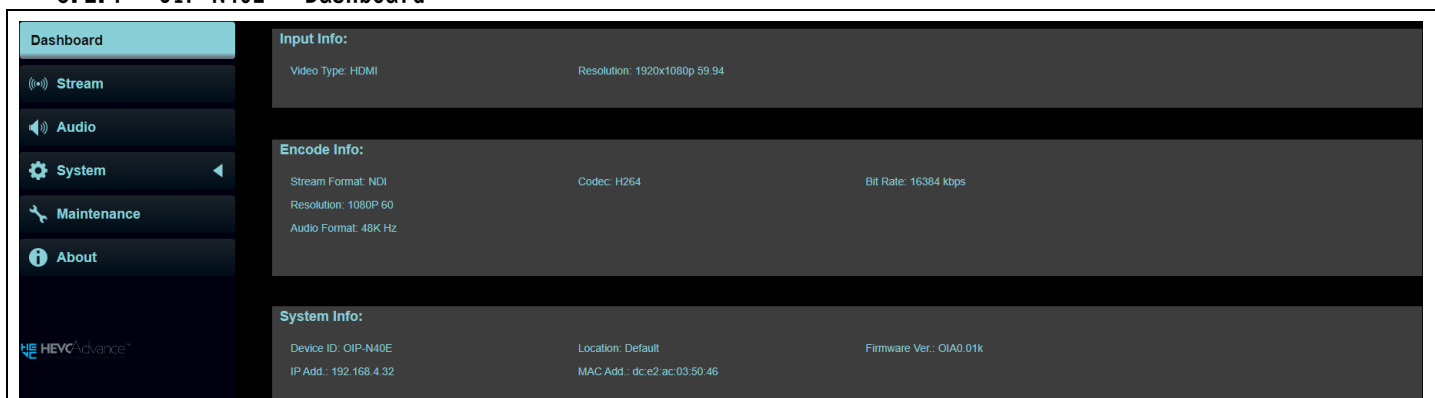
本章では Web ブラウザ経由での設定方法を解説します。

- ✓ Web ブラウザを開き、アドレスバーにカメラの IP アドレスを入力します。デフォルトの IP アドレス設定は DHCP（自動取得）です。OSD メニューの「Status 画面」より IP アドレスが確認できます。
- ✓ 管理者アカウントでログインします。
ユーザー名: admin
パスワード: 9999（初期設定）

5.2 OIP-N40E の設定項目

本章では OIP-N40E の Web GUI（ウェブインターフェース）における設定項目について解説します。

5.2.1 OIP-N40E - Dashboard

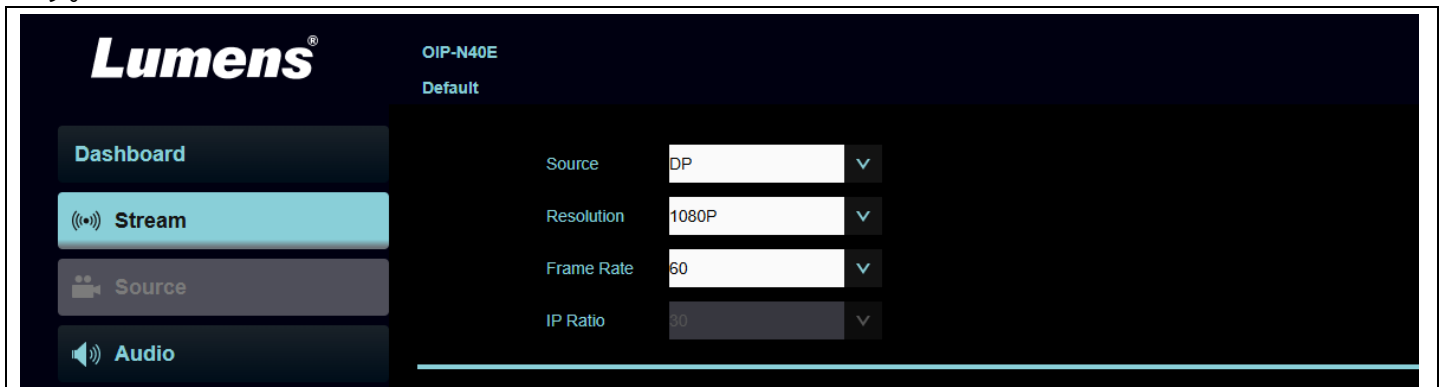


機能概要

Web GUI にログインした際に最初に表示される画面です。エンコーダーの現在の動作状況に関する主要な情報（入力ソースの状態、エンコード設定の概要、ネットワーク情報、システム関連情報など）を一覧で確認できます。

5.2.2 OIP-N40E - Stream

エンコードする映像ソースの選択や、ストリーミングに関する各種設定を行います。選択するストリーミング方式 (Stream Type) によって、Stream Setting の設定項目は異なるため、各 Stream Type における設定を記載します。



設定項目	パラメーター	機能概要
Source	Auto/HDMI/ DP	<p>映像の入力ソースを以下のいずれかから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ HDMI: HDMI 入力に接続された機器をソースとして使用します。 ✓ DP: USB Type-C ポートからへ入力された PC 等の映像をソースとして使用します。 ✓ Auto: 接続された映像ソースを自動で検出します。優先順位は以下の通りです。 起動時: 起動時に両方のポートに機器が接続されている場合、HDMI が選択されます。 動作中: どちらかのソースが有効な状態でもう一方を接続した場合、先に接続されていたソースが維持されます。
Resolution	1080P/ 720P	エンコードする映像の解像度を指定します (入力信号が異なる解像度の場合は、ここで指定した解像度にスケーリングされます)。
Frame Rate	60/ 59.94/ 50/ 30/ 29.97/ 25	エンコードする映像のフレームレートを指定します。(入力信号が異なるフレームレートの場合は、ここで指定したフレームレートに変換されます)。
IP Ratio	60/ 30/ 25/ 20/ 15/ 10	エンコードされた映像ストリームにおけるキーフレームの挿入頻度 (GOP: Group of Pictures の長さ) を設定します。 ※Stream Type が RTSP または RTMP/RTMPS の時に変更可。

各 Stream Type における設定

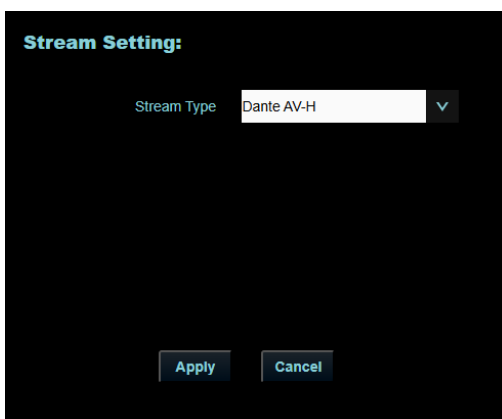
NDI HX 設定

設定項目	パラメーター	機能概要
Stream Type	NDI HX/ RTSP/ Dante AV-H/ RTMP/ RTMPS	ストリーミング方式として「NDI HX」を選択します。
Camera ID	-	NDI ネットワーク上で本機を識別するための Camera ID (Device ID と同じ) を表示します。 ※Device ID は、「 5.2.5 OIP-N40E - System Output 」設定メニュー内で変更可能です。
Location	-	NDI ソースのメタデータとして使用される Location (名を表示します)。 ※Location 名は、「 5.2.5 OIP-N40E - System Output 」設定メニュー内で変更可能です。
Group Name	-	本機が属する NDI グループ名を設定します。 NDI Access Manager などグループ単位のアクセス制御を行う際に使用します (パブリックグループの場合は空欄または public)。
NDI HX	HX2/ HX3	使用する NDI HX のバージョン (プロトコル) を選択します。HX3 は一般に HX2 より高画質・低遅延ですが、ネットワーク帯域を多く使用します。
Multicast	-	NDI HX ストリームをマルチキャストで送信するかどうかを設定します。同一ネットワーク上で同時に多数 (目安 4 台以上) の受信機がこの映像を受信する場合、ネットワーク負荷軽減のため有効化を推奨します。有効にすると、マルチキャスト用 IP アドレスの設定項目が表示されます。
Discovery Server	-	NDI Discovery Server を使用して NDI ソースの検出を行う場合に有効にし、Discovery Server の IP アドレスを入力します。通常は不要ですが、大規模ネットワークや異なるネットワークセグメント間で NDI を使用する場合に設定します。
Apply/ Cancel	-	Stream Setting を保存、またはキャンセルします。

RTSP 設定

設定項目	パラメーター	機能概要
Stream Type	NDI HX/ RTSP/ Dante AV-H/ RTMP/ RTMPS	ストリーミング方式として「RTSP」を選択します。
Codec	H. 264/ HEVC	映像の圧縮方式（コーデック）を選択します。HEVC (H. 265)はH. 264 よりも高圧縮ですが、受信側での対応が必要です。
Bit Rate	2,000 ~ 20,000 kbps	エンコードする映像のビットレート（1秒あたりのデータ量）を設定します。高画質ほど高い値が必要ですが、ネットワーク帯域を多く消費します。解像度、フレームレート、Rate Control 方式などを考慮して設定してください。
Rate Control	CBR/ VBR	ビットレートの制御方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ CBR（固定ビットレート）：ビットレートを一定に保ちます。 ✓ VBR（可変ビットレート）：映像に応じてビットレートを変動させ、効率的な圧縮を目指します。
RTSP URL	-	本機の RTSP ストリームにアクセスするための URL を表示します。RTSP 対応クライアントでこの URL を指定して映像を受信できます。 例：rtsp://192.168.100.100:8557/h264
Multicast	-	RTSP ストリームをマルチキャストで送信するかどうかを設定します。同一ネットワーク上で同時に多数（目安 4 台以上）の受信機がこの映像を受信する場合、ネットワーク負荷軽減のため有効化を推奨します。
Authentication	-	RTSP ストリームへのアクセスに認証（ユーザー名とパスワード）を要求するかどうかを設定します。有効にする場合は、任意のユーザー名（Account）とパスワード（Password）を設定してください。
Apply/ Cancel	-	Stream Setting を保存、またはキャンセルします。

Dante AV-H 設定



設定項目	パラメーター	機能概要
Stream Type	NDI HX/ RTSP/ Dante AV-H/ RTMP/ RTMPS	ストリーミング方式として「Dante AV-H」を選択します。Dante AV-Hを使用するには、別途 Dante Ready のアクティベーションが必要です。
Apply/ Cancel	-	Stream Setting を保存、またはキャンセルします。

RTMP/ RTMPS 設定

設定項目	パラメーター	機能概要
Stream Type	NDI HX/ RTSP/ Dante AV-H/ RTMP/ RTMPS	ストリーミング方式として「RTMP/ RTMPS」を選択します。
RTMP/RTMPS Server Status	-	設定した RTMP/RTMPS サーバー（配信プラットフォームなど）への現在の接続状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ Connection Success (成功): サーバーへの接続が確立しています。 ✓ Disconnected (切断): サーバーから切断されているか、まだ接続していません。
RTMP URL	-	配信先の RTMP/RTMPS サーバーの URL (アドレス) を入力します。通常、配信プラットフォーム (YouTube Live, Facebook Live など) から提供される情報をコピー & ペーストします。
Stream Key	-	配信プラットフォームから提供されるストリームキー (ストリーム名) を入力します。URL と組み合わせて、配信先のアカウントやイベントを特定します。
Bit Rate	2,000 ~ 20,000 kbps	エンコードする映像のビットレート (1 秒あたりのデータ量) を設定します。高画質ほど高い値が必要ですが、ネットワーク帯域を多く消費します。解像度、フレームレート、Rate Control 方式などを考慮して設定してください。
Rate Control	CBR/ VBR	ビットレートの制御方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ CBR (固定ビットレート): ビットレートを一定に保ちます。 ✓ VBR (可変ビットレート): 映像に応じてビットレートを変動させ、効率的な圧縮を目指します。
Require Password Authentication	-	配信先の RTMP/RTMPS サーバーが別途ユーザー名とパスワードによる認証を要求する場合に有効にし、提供された認証情報を入力します。 ※多くの公開ライブ配信プラットフォームでは通常この認証は不要です。
Apply/ Cancel	-	Stream Setting を保存、またはキャンセルします。

5.2.3 OIP-N40E - Source (Virtual USB 入力ソース設定)

本設定は、「[5.2.5 OIP-N40E - System Output](#)」で「Virtual USB Output」機能が有効になっている場合にのみ表示・設定可能です。

【Virtual USB 機能について】

この機能は、OIP-N40E が IP ネットワーク経由で受信したビデオおよびオーディオストリームを、USB Type-C 接続を介して PC へ送信するものです。PC からは OIP-N40E が USB カメラ(UVC)および USB マイク/スピーカー(UAC)デバイスとして認識され、特別なドライバのインストールは不要です。

- ✓ 対応ビデオ入力ストリーム: RTSP, NDI HX, Dante AV-H
- ✓ 対応オーディオ入出力: Dante Audio (双方向対応: PC のマイク音声を Dante 送信、Dante 音声を PC のスピーカー出力として受信可能)

※Dante AV-H、Dante Audio を使用するには、OIP-N40E の Dante Ready をアクティベートする必要があります。

【本設定画面の目的】

この画面では、Virtual USB 機能で PC に送信するネットワーク上の映像ソースを選択・管理します。

No	設定項目	機能概要
1	Source List	Virtual USB 機能で受信・転送する候補となる映像ソースのリストを表示します。 表示項目: No., 名前, Location, IP アドレス, プロトコル種別(Type), 状態(Status), 備考(Remark) 注意: 「状態(Status)」はソースへの接続状況を示すものではない場合があります。 (認証情報が正しければ OK と表示されます)。Dante Ready アクティベート時は、Dante AV-H ソースがリスト No.1 に優先表示される場合があります。
2	Search new Source	ネットワーク上に存在する対応ビデオソース (カメラ、エンコーダーなど) を自動検索し、リストに追加します。
3	Search Mode	「Search new Source」ボタンを押した際の、ネットワーク上のデバイス検索方式を設定します。 ✓ NDI & ONVIF: NDI と ONVIF の両方のプロトコルを使用してデバイスを検索します。 ✓ only NDI: NDI プロトコルに対応したデバイスのみを検索します。 ✓ only ONVIF: ONVIF プロトコルに対応したデバイスのみを検索します。
4	チェックボックス	リスト内のソースを選択します。チェックを入れたソースに対して、移動(Up/Down)、編集(Edit)、削除>Delete)、受信開始(Play)などの操作を行います。
5	Add	ネットワーク上で自動検出されなかったソースや、特定の URL を持つソースなどを手動でリストに追加します。
6	Up	リストで選択したソースを一つ上に移動させます。
7	Down	リストで選択したソースを一つ下に移動させます。
8	Edit	リストで選択したソースの設定編集画面を開きます。認証情報 (ユーザー名/パスワード) を編集できます。
9	Delete	リストで選択したソースをリストから削除します。
10	Play	リストで選択したソースを、Virtual USB 機能を通じて PC へ送信するアクティブなソースとして受信を開始します。

NDI Options/ RTSP Options

NDI Options:		RTSP Options:	
Group Name	<input type="text" value="Public"/>	RTSP Protocol	<input type="text" value="TCP"/> ▼
<input type="checkbox"/> Discovery Service			
Server IP	<input type="text"/>	<input type="button" value="Apply"/>	<input type="button" value="Cancel"/>
<input type="button" value="Apply"/>	<input type="button" value="Cancel"/>		

カテゴリー	設定項目	機能概要
NDI Options	Group Name	本機が属する NDI グループ名を設定します。NDI Access Managerなどでグループ単位のアクセス制御を行う際に使用します（パブリックグループの場合は空欄または public）。
	Discovery Service	NDI Discovery Server を使用して NDI ソースの検出を行う場合に有効にし、Discovery Server の IP アドレスを入力します。通常は不要ですが、大規模ネットワークや異なるネットワークセグメント間で NDI を使用する場合に設定します。
	Apply/ Cancel	NDI Options 設定を保存、またはキャンセルします。
RTSP Options	RTSP Protocol	RTSP ストリーミングで使用するトランスポートプロトコルを選択します。
	Apply/ Cancel	RTSP Options 設定を保存、またはキャンセルします。

5.2.4 OIP-N40E - Audio

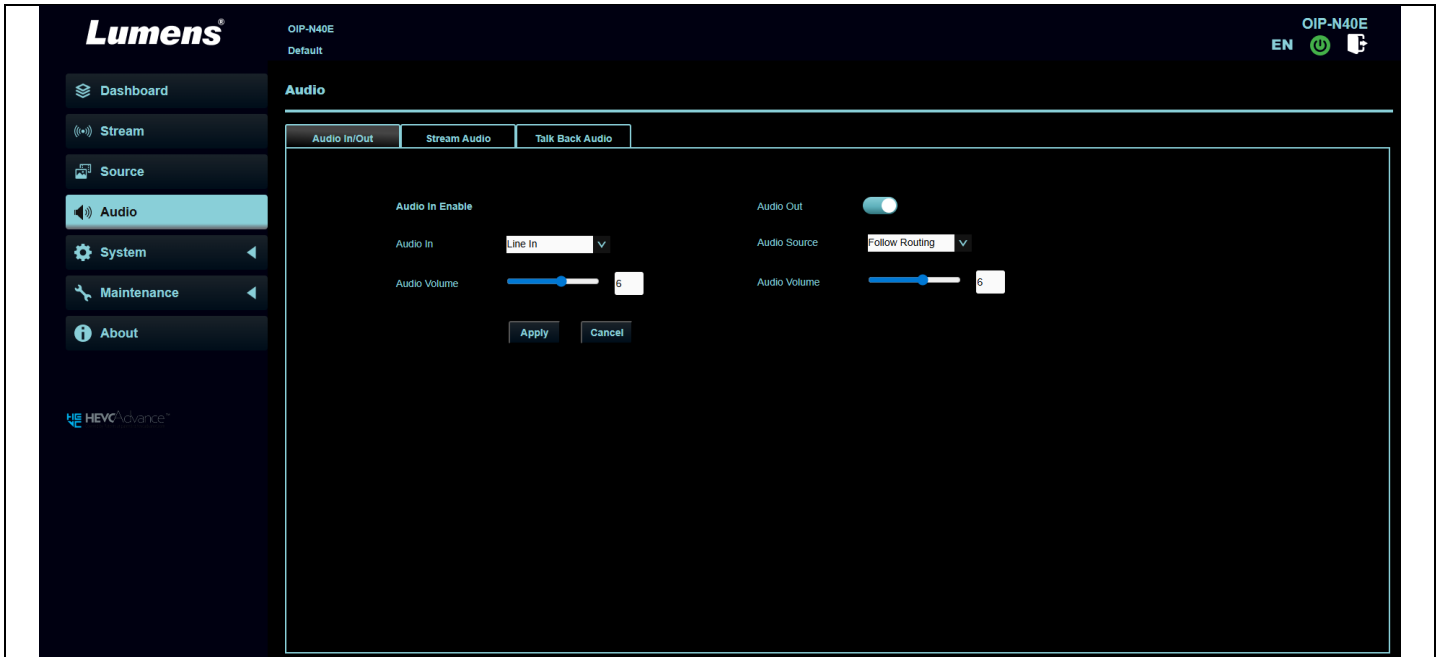
OIP-N40E の音声に関する設定を行います。画面は Audio In/Out、Stream Audio、Talk Back Audio の3つのタブで構成されています。

【Dante Audio 利用時の注意点】

- ✓ **Dante 音声の送信:** Dante ストリームに音声を含めるには、Stream Audio を有効にする必要があります。また、別途 Stream 設定ページで Stream Type を Dante AV-H に設定してください。
- ✓ **音声受信と PC への転送:** OIP-N40E が Dante ネットワークから受信した音声を PC に送る場合は、別途「[System Output 設定](#)」ページの「UAC Output」項目を設定する必要があります。

Audio In/Out:

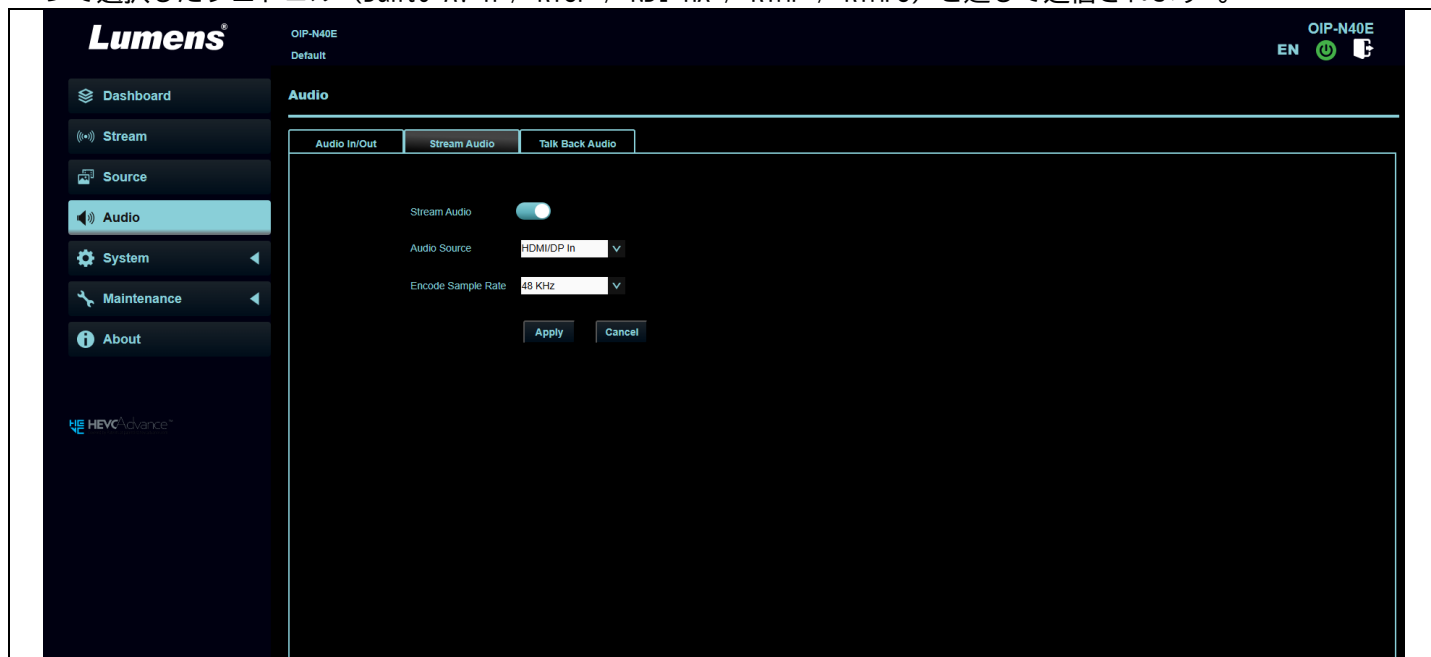
本体のアナログ音声入出力端子に関する設定です。



カテゴリー	設定項目	機能概要
Audio in Enable	Audio In	アナログ入力端子の入力基準レベルをラインレベル/ マイクレベルから選択します。
	Audio Volume	アナログ入力ポートの音量を調整します。
	Apply/ Cancel	設定を保存、またはキャンセルします。
Audio Out	<input checked="" type="checkbox"/>	アナログ出力の有効と無効を切り替えます。
	Audio Source	出力する音声ソースを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ Follow Stream: 現在デコーダーで受信・表示している映像に紐付いている音声をそのまま出力します。 ✓ Follow Routing: Lumens Routing Switcher ソフトウェアを使用して、ネットワーク上のどのデバイスの音声をデコーダーから出力するかを選択します。 ✓ Follow Dante: Dante Controller で接続された Dante デバイスの音声を出力します。
	Audio Volume	アナログ出力ポートの音量を調整します。

Stream Audio:

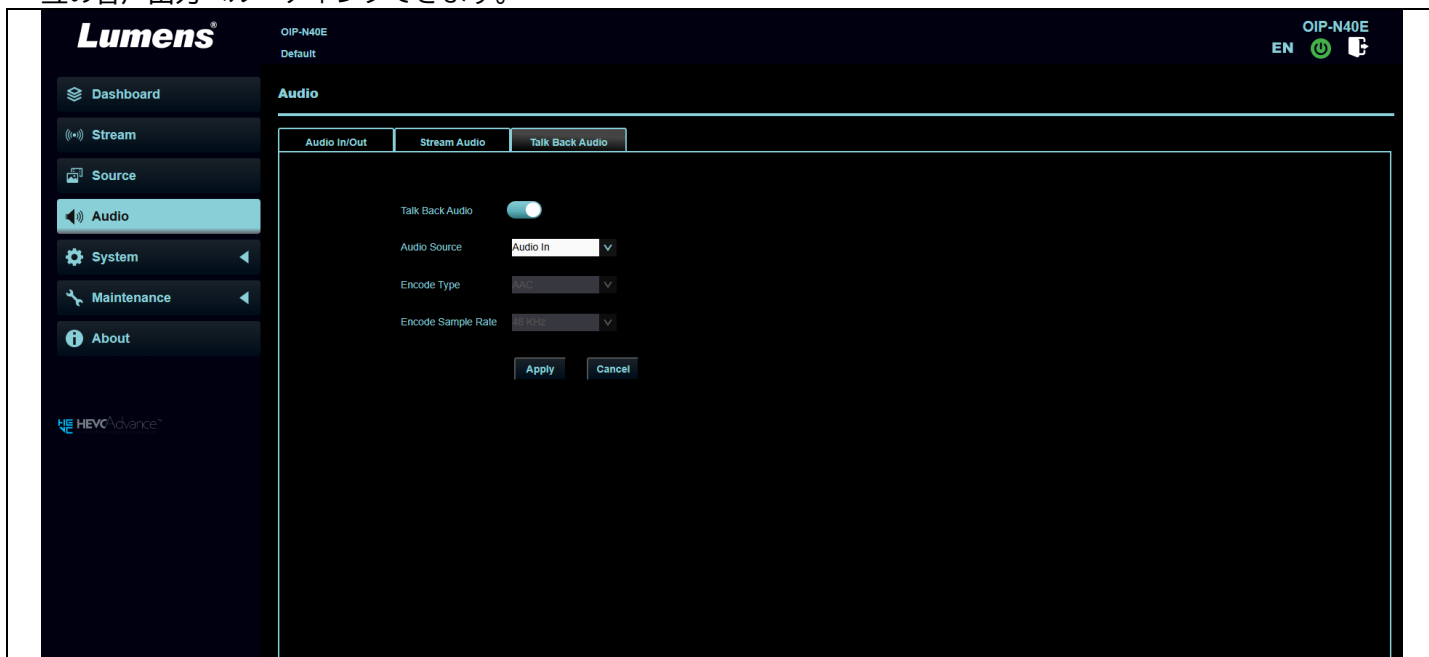
ネットワーク経由で配信・送信する音声のソース設定を行います。ここで設定された音声は、「Stream」ページで選択したプロトコル（Dante AV-H / RTSP / NDI HX / RTMP / RTMPS）を通じて送信されます。



設定項目	機能概要
Stream Audio	音声出力の有効/無効を切り替えます。
Audio Source	ストリーミング出力に使用する音声ソースを以下から選択します。 ✓ HDMI / DP In: HDMI 入力端子、または USB Type-C ポート (DisplayPort Alternate Mode) から入力された音声。 ✓ Audio In: 本体の 3.5mm 音声入力端子に接続されたデバイスの音声。 ✓ USB Audio: USB 接続された PC などの音声。
Encode Sample Rate	音声エンコードのサンプリング周波数を設定します。デフォルト値：48 KHz。
Apply / Cancel	設定を保存、またはキャンセルします。

Talk Back Audio:

Lumens Routing Switcher ソフトウェアを使用して OIP-N60D と OIP-N40E を接続し、デバイス間での双方向音声通信を可能にします。Routing Switcher 上の Audio 設定で通信先を選択することで、各デバイスの音声入力を相互の音声出力ハルレーティングできます。



設定項目	機能概要
Talk Back Audio	トークバック機能の有効または無効を切り替えます。
Audio Source	送信側の音声ソースを以下から選択します。 ✓ Audio In: 本体の 3.5mm 音声入力端子に接続されたデバイスの音声。 ✓ USB Audio: USB Type-C ポート経由で接続された PC などの音声。
Encode Type	音声エンコード形式を表示します。AAC 固定です。
Encode Sample Rate	音声エンコードのサンプリング周波数を表示します。48 KHz 固定です。
Apply / Cancel	設定を保存、またはキャンセルします。

5.2.5 OIP-N40E - System Output

本設定項目では、OIP-N40E のデバイス識別情報、映像へのオーバーレイ表示、および USB 入出力機能 (Virtual USB、USB Extender) に関する設定を行います。

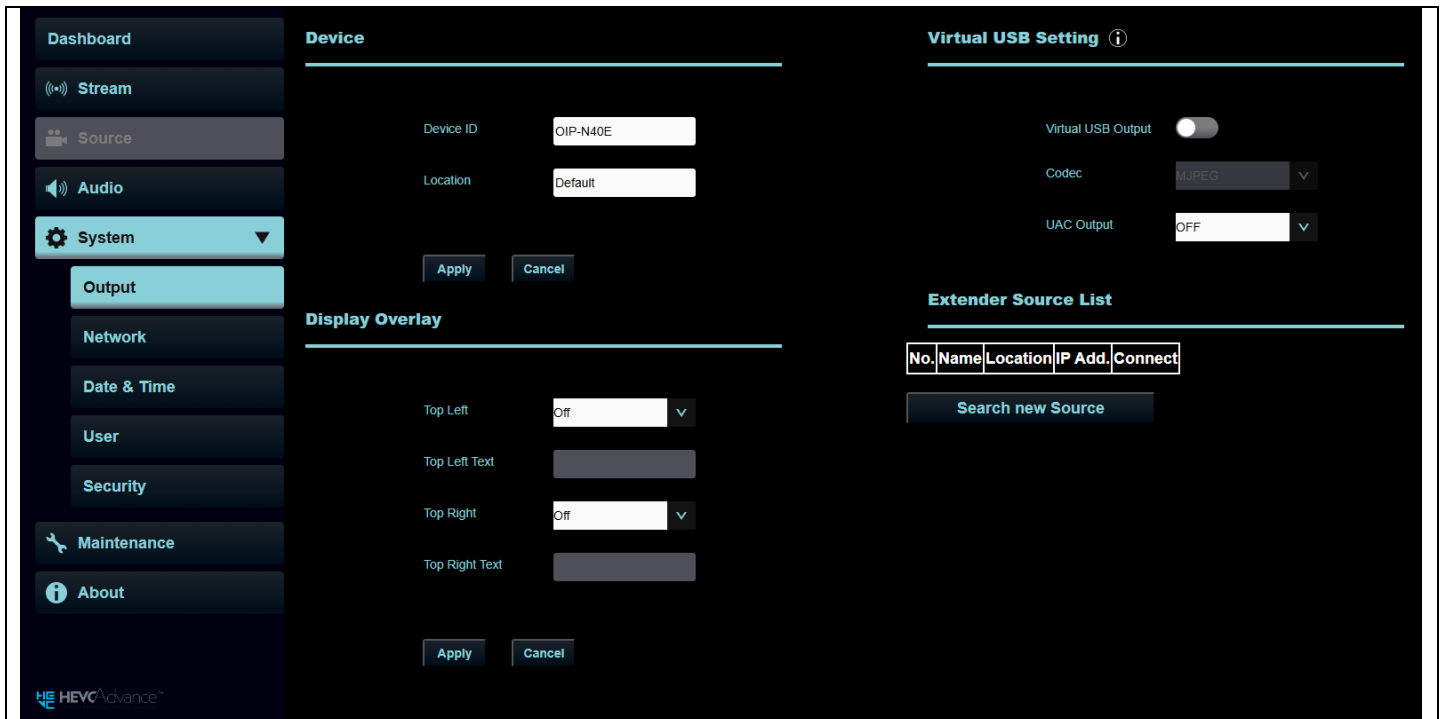
✓ Virtual USB Setting

OIP-N40E が IP ネットワーク経由で受信したビデオ/オーディオストリームを、USB カメラ(UVC)および USB オーディオ(UAC)デバイスとして USB Type-C ポートから PC へ出力する機能です。ドライバ不要で PC の Web 会議アプリケーション等で利用できます。

注意: ビデオ出力は 1080@30fps 以下の解像度/フレームレートで利用可能です。

✓ Extender Source List

ネットワーク上の OIP デコーダーの USB Type-A ポートに接続された USB カメラやスピーカーフォンなどを、IP ネットワーク経由で OIP-N40E に転送し、USB カメラ(UVC)および USB オーディオ(UAC)デバイスとして USB Type-C ポートから PC に最大 4K30 の解像度/フレームレートで出力する機能 (USB over IP) です。

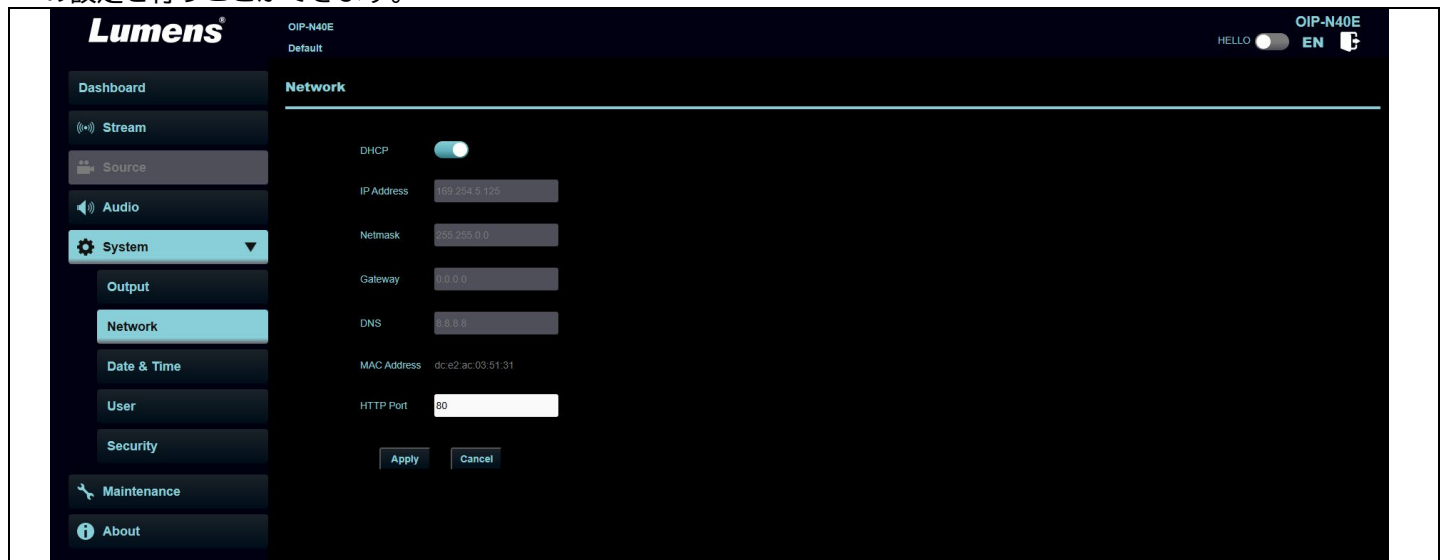


カテゴリー	設定項目	機能概要
Device	Device ID	デバイス名 (本機の名前) を設定します。1~12 文字、英数字のみ使用可 (特殊記号・スペース不可)。NDI ソース名や ONVIF 検出名にも影響します。
Device	Location	デバイスの設置場所などを示すロケーション名を設定します。1~11 文字、英数字のみ使用可 (特殊記号・スペース不可)。NDI メタデータや ONVIF 情報に含まれます。
	Apply/ Cancel	Device 設定を保存、またはキャンセルします。
Display Overlay	Top Left	映像の左上に表示する内容を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ Off: なんにも表示しません。 ✓ Date & Time: 現在の時刻を表示します。時刻の設定は「System Date & Time」で変更可能です。使用するには SNTP サーバーを使用することを推奨します。 ✓ Text: Top Left Text ボックスに記載した、任意の文字列を表示します。
	Top Right	映像の右上に表示する文字を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ Off: なんにも表示しません。 ✓ Date & Time: 現在の時刻を表示します。時刻の設定は「System Date & Time」で変更可能です。使用するには SNTP サーバーを使用することを推奨します。 ✓ Text: Top Right Text ボックスに記載した、任意の文字列を表示します。
	Apply/ Cancel	Display Overlay 設定を保存、またはキャンセルします。
Virtual USB Setting	Virtual USB Output	Virtual USB 機能をの有効/ 無効を切り替えます。Extender Source List とは排他的です。

カテゴリー	設定項目	機能概要
	Codec	PC へ UVC(USB カメラ)として出力する際の映像コーデックは MJPEG で固定です。
	UAC Output	USB Audio (UAC)として PC に送信する音声ソースを選択します。 ✓ OFF: 送信しません。 ✓ Follow Video Stream: ビデオストリームの音声を送信します。 ✓ Follow Dante: Dante ネットワークから受信した音声を PC に送信します。
Extender Source List	Extender Source List	Extender Source 機能で受信する候補となるリストを表示します。通常 OIP デコーダーデバイスが表示されます。デコーダーの USB Type-A ポートに USB 機器が接続されていることを確認してください。 表示項目: No., 名前, Location, IP アドレス, Connect 利用したいデコーダーの「Connect」を有効にすると、その UVC カメラが IP 経由で本機に転送されます。Virtual USB Setting とは排他的です。
	Search new Source	ネットワーク上に存在する OIP デコーダーを自動検索し、リストに追加します。

5.2.6 OIP-N40E - System Network

本設定項目では、OIP-N40E の IP アドレス設定、MAC アドレスの確認、外部制御などで使用する HTTP ポート番号の設定を行うことができます。

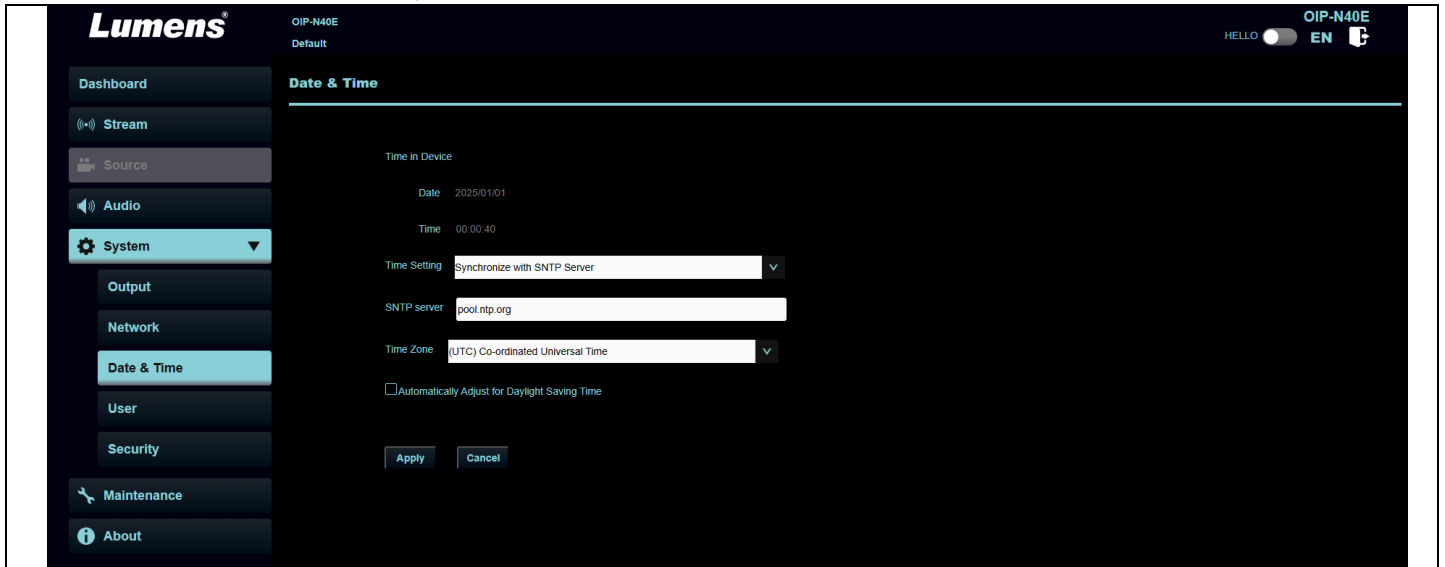


設定項目	機能概要
DHCP	IP アドレスの取得方法を設定します。 ✓ 有効: DHCP (自動取得) にします。 ✓ 無効: Static (固定 IP アドレス) にします。
IP Address	IP アドレスの取得方法で Static (固定) を選択した場合に、本機の IP アドレスを設定します。
Netmask	IP アドレスの取得方法で Static (固定) を選択した場合に、サブネットマスクを設定します。
Gateway	IP アドレスの取得方法で Static (固定) を選択した場合に、デフォルトゲートウェイを設定します。
DNS	IP アドレスの取得方法で Static (固定) を選択した場合に、DNS サーバーのアドレスを設定します。
MAC Address	本機の MAC アドレスを表示します。
HTTP Port	API 制御に使用する HTTP ポート番号を設定します (デフォルト値: 80)。
Apply/ Cancel	Network 設定を保存、またはキャンセルします。

5.2.7 OIP-N40E - System Date & Time

本設定項目では、OIP-N40E の内部時計の日付と時刻を設定します。時刻設定モード (Time Setting Mode)には3つのオプションがあります。

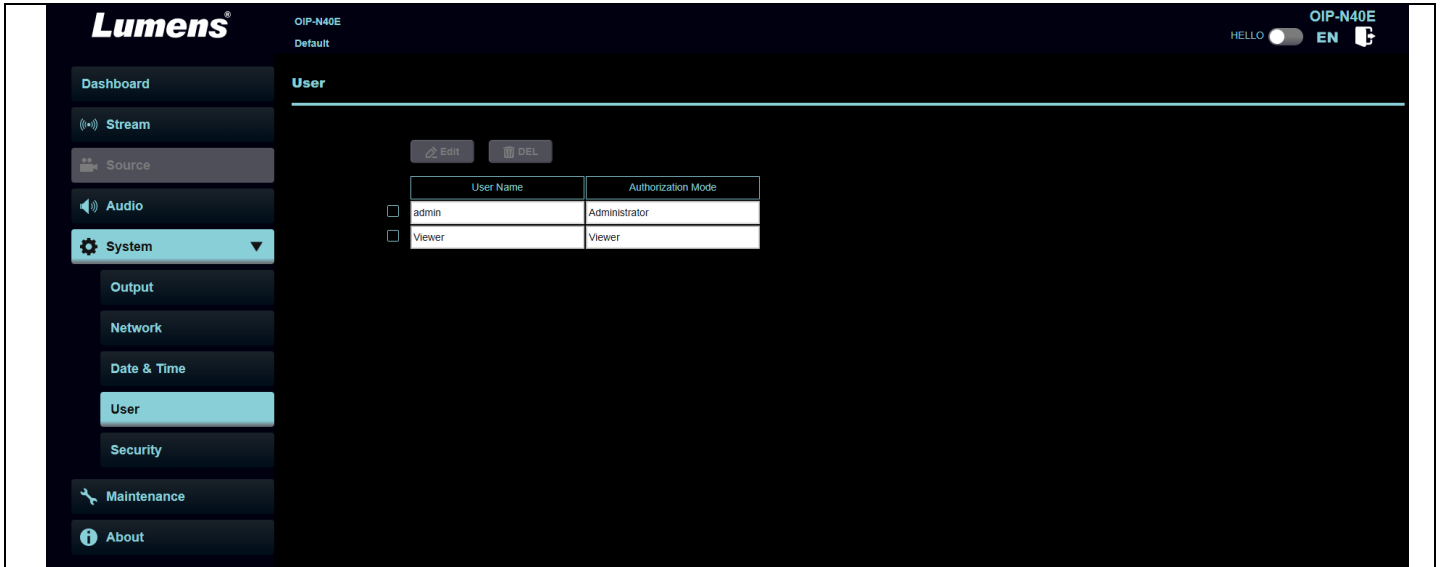
- ✓ 手動設定 (Set Manually)
- ✓ PC 時刻と同期 (Synchronize with Computer Time)
- ✓ SNTP サーバーと同期 (Synchronize with SNTP Server)



カテゴリー	設定項目	機能概要
Time in Device	Date	現在の日付を表示します。
	Time	現在の時間を表示します。
Set Manually	Time Setting	Set Manually を選択すると、手動で時刻を設定することができます。
	Date	設定したい日付を手動で入力または選択します。
	Hours/ Minutes/ Seconds	設定したい時刻 (時・分・秒) を手動で入力します。
	Apply/ Cancel	時刻設定を保存、またはキャンセルします。
Synchronize with Computer Time	Time Setting	Synchronize with Computer Time を選択すると、接続している PC の時刻と OIP-N40E の時刻設定が同期します。
	Apply/ Cancel	Apply を押下すると、PC の現在時刻と同期します。
Synchronize with SNTP Server	Time Setting	Synchronize with SNTP Server を選択すると、指定した SNTP サーバーと時刻が同期します。
	SNTP server	同期に使用する SNTP サーバーのアドレス (URL または IP アドレス) を入力します。
	Time Zone	設置場所に合わせてタイムゾーンを選択します。
	Automatically Adjust for Daylight Saving Time	選択したタイムゾーンで夏時間 (Daylight Saving Time) が実施される場合に、自動で時刻を調整するかどうかを設定します。
	Apply/ Cancel	時刻設定を保存、またはキャンセルします。

5.2.8 OIP-N40E - System User

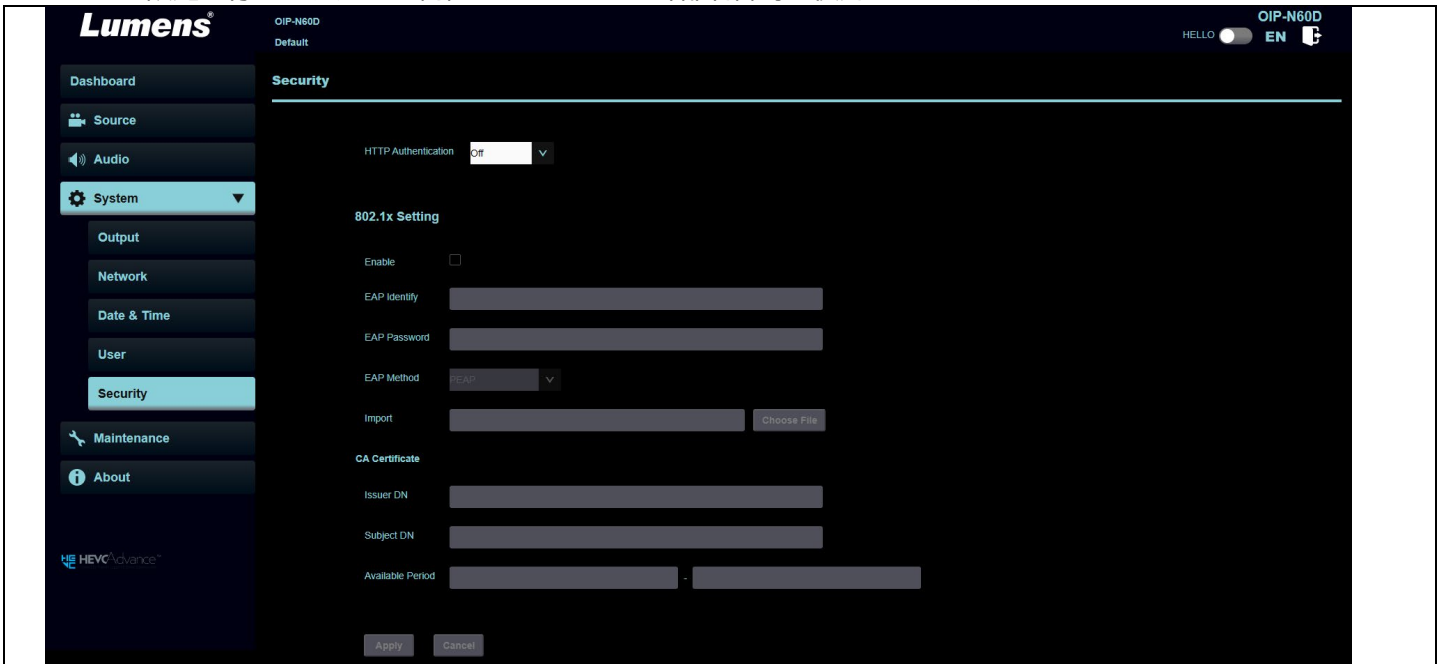
本設定項目では、OIP-N40E の Web GUI にログインするためのユーザーアカウントの管理（追加、編集、削除）を行います。



項目	機能概要
Edit	リストで選択したユーザーの編集画面を開きます。編集画面では、パスワードの変更ができます。
DEL	リストで選択したユーザーを削除します。Administrator 権限のユーザーは削除できません。
User Name	ユーザー名を表示します。
Authorization Mode	ユーザーに与えられている権限を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ Administrator: すべての設定項目を参照、変更ができます。 ✓ Viewer: Dashboard の情報閲覧、System Output の「Virtual USB Setting」「Extender Source List」の設定変更ができます。

5.2.9 OIP-N40E - System Security

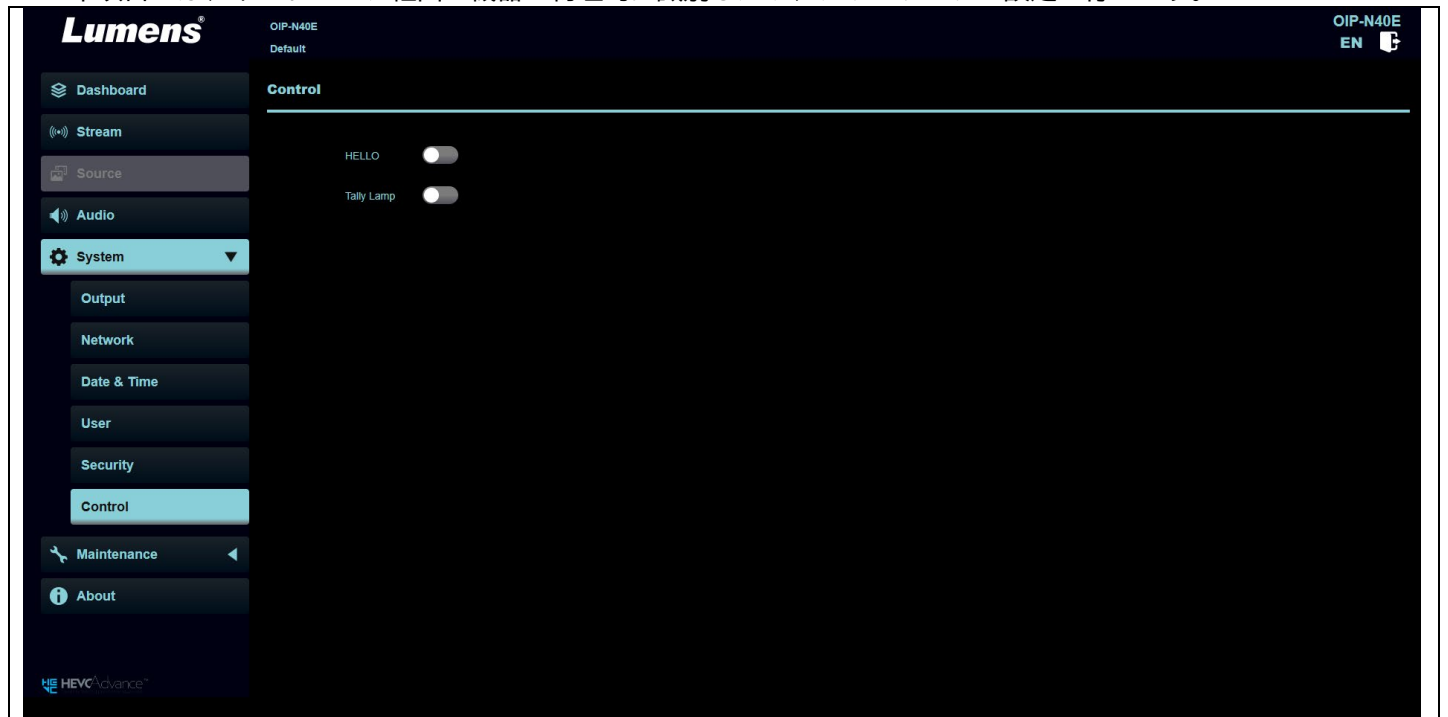
本設定項目では、OIP-N40E の HTTP アクセス認証や、ネットワークアクセス制御（IEEE 802.1x）に関するセキュリティ設定を行います。HTTP 認証は、Web GUI や外部制御時に使用されます。



カテゴリー	設項目	機能概要
HTTP Authentication	HTTP Authentication	HTTP 認証方式を選択します。 ✓ Off: 認証なし。 ✓ Basic: ベーシック認証。 ✓ Digest: ダイジェスト認証。
802.1x Setting	Enable	IEEE 802.1X 認証機能を有効にする場合にチェックを入れます。この機能を有効にするには、ルーターが 802.1x プロトコルをサポートしている必要があります。
	EAP Identify	認証で使用する ID (ユーザー名など) を入力します。
	EAP Password	認証で使用するパスワードを入力します。
	EAP Method	認証に使用する EAP 方式を選択します。
CA Certificate	Import	EAP-TLS などの認証方式に必要なクライアント証明書や秘密鍵ファイルをインポートします。
	Issuer DN	インポートされた CA 証明書の発行者識別名 (Distinguished Name, DN) を表示します。
	Subject DN	インポートされた CA 証明書のサブジェクト識別名 (Distinguished Name, DN) を表示します。
	Available Period	インポートされた CA 証明書の有効期間を表示します。
-	Apply/ Cancel	802.1x 設定を保存、またはキャンセルします。

5.2.10 OIP-N40E - Control

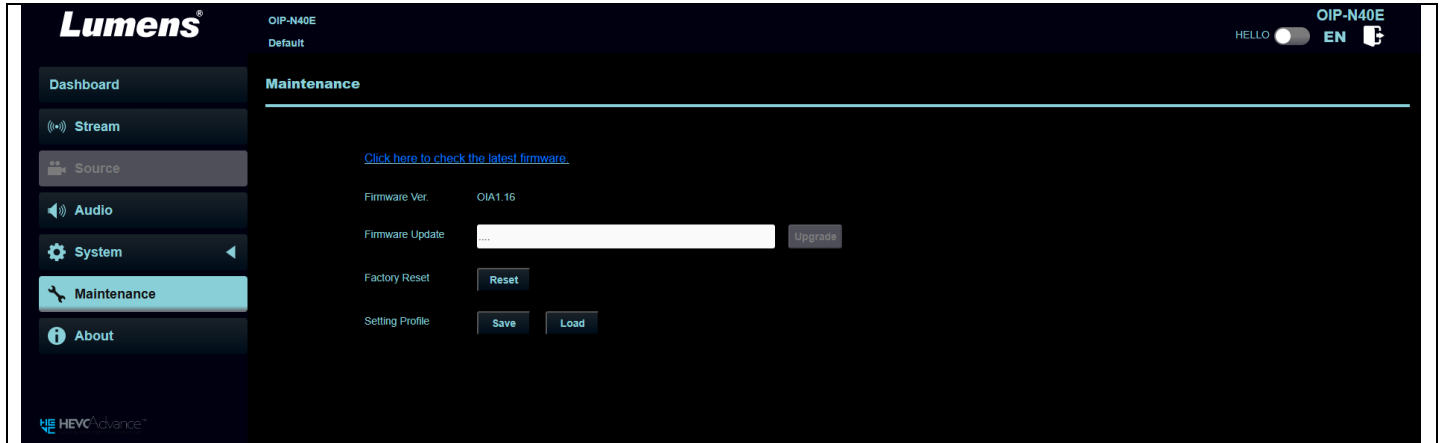
本項目では、ネットワーク経由で機器を物理的に識別したり、タリーランプの設定を行います。



項目	機能概要
HELLO	このスイッチを有効にすると、機器本体の前面にあるステータス LED が点滅します。複数の OIP-N40E が設置されている環境で、設定対象の機器を特定する際に便利です (Identify 機能)。
Tally Lamp	入力されたタリー情報に応じて、本体のタリーランプの点灯を有効/無効にします。この機能は NDI プロトコルでのみ使用可能で、タリー信号を出力できるシステムと連携している必要があります。

5.2.11 OIP-N40E - Maintenance

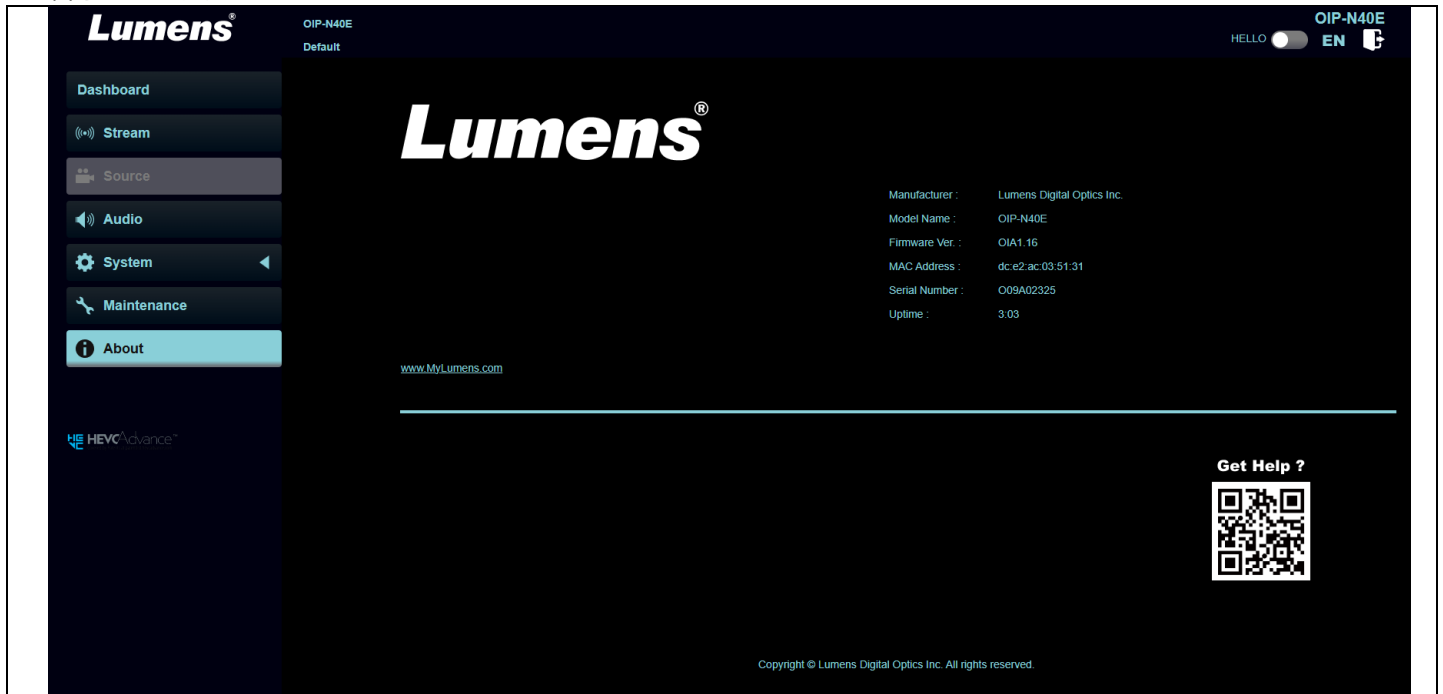
本設定項目では、OIP-N40E のファームウェア管理（バージョン確認、アップデート）、工場出荷時へのリセット、および設定内容のバックアップ（保存/読み込み）を行います。



項目	機能概要
Firmware Ver	ファームウェアバージョンを表示します。
Firmware Update	ファームウェアをアップデートします。フィールドをクリックするとファイル選択画面が開くので、新しいファームウェアファイルを指定します。最新のファームウェアは、Lumens の Web ページ よりダウンロードしてください。
Factory Reset	Reset ボタンを押すと、確認後、本機の全ての設定が工場出荷時の状態に初期化されます。「Except the network settings」にチェックを入れると IP アドレス設定は変更されません。
Setting Profile	設定プロファイルを保存、ロードします。

5.2.12 OIP-N40E - About

本画面では、OIP-N40E の基本的な製品情報、ファームウェアバージョン、ネットワーク情報、稼働時間などを確認できます。

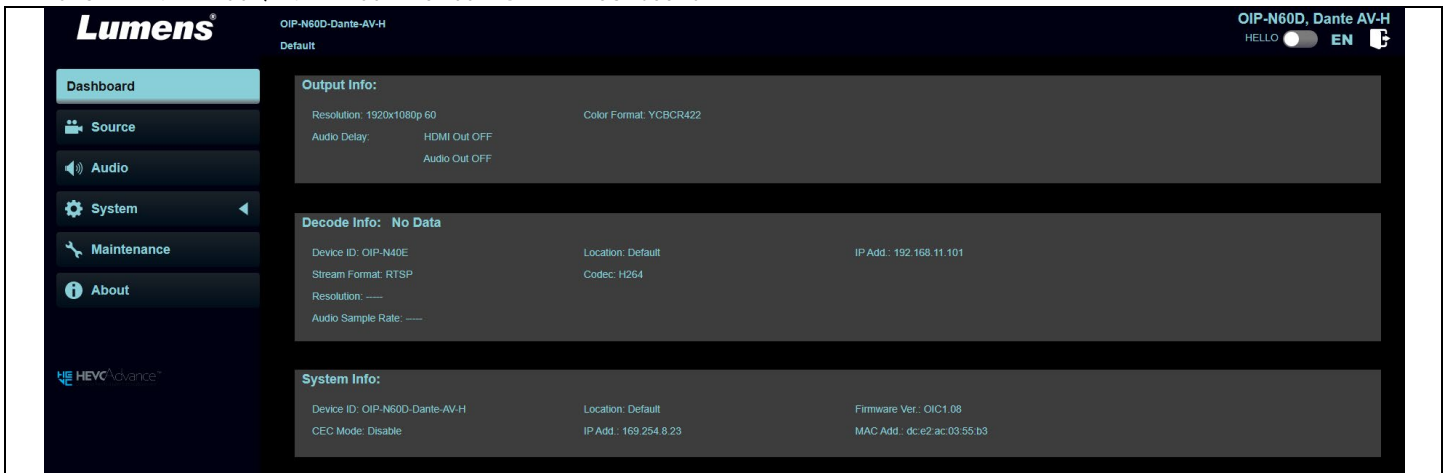


項目	機能概要
Manufacturer	製造元メーカー名を表示します。
Model Name	本機のモデル名を表示します。
Firmware Ver	現在インストールされているファームウェアのバージョンを表示します。
MAC Address	本機のネットワークインターフェースの MAC アドレスを表示します。
Serial Number	本機の製造番号（シリアルナンバー）を表示します。
Uptime	本機が最後に起動してからの経過時間（稼働時間）を表示します。

5.3 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H の設定項目

ここでは、OIP-N60D の Web GUI（ウェブインターフェース）における設定項目について解説します。

5.3.1 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - Dashboard

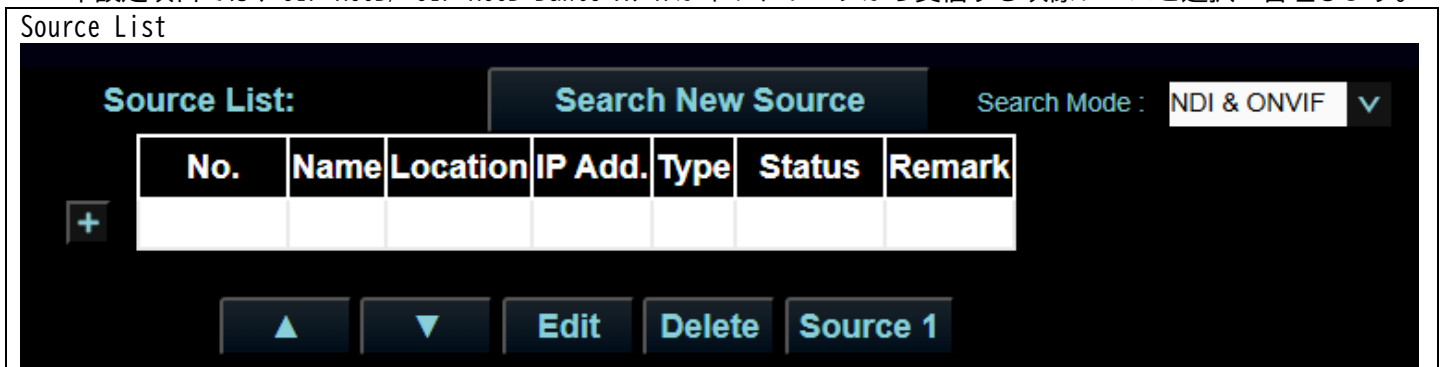


機能概要

Web GUI にログインした際に最初に表示される画面です。エンコーダーの現在の動作状況に関する主要な情報（入力ソースの状態、エンコード設定の概要、ネットワーク情報、システム関連情報など）を一覧で確認できます。

5.3.2 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - Source

本設定項目では、OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H がネットワークから受信する映像ソースを選択・管理します。



No	設定項目	機能概要
1	Source List	ソースのリストが表示されます。 注意: 「状態(Status)」はソースへの接続状況を示すものではない場合があります（認証情報が正しければ OK と表示されます）。Dante AV-H モデルの場合、Dante AV-H ソースがリスト No. 1 に優先表示される場合があります。
2	Search new Source	ネットワーク上に存在する対応ビデオソース（カメラ、エンコーダーなど）を自動検索し、リストに追加します。
3	Search Mode	「Search new Source」ボタンを押した際の、ネットワーク上のデバイス検索方式を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ NDI & ONVIF: NDI と ONVIF の両方のプロトコルを使用してデバイスを検索します。 ✓ only NDI: NDI プロトコルに対応したデバイスのみを検索します。 ✓ only ONVIF: ONVIF プロトコルに対応したデバイス（多くの IP カメラなど）のみを検索します。
4	チェックボックス	リスト内のソースを選択します。チェックを入れたソースに対して、移動(Up/Down)、編集(Edit)、削除(Delete)、受信開始(Play)などの操作を行います。
5	Add	ネットワーク上で自動検出されなかったソースや、特定の URL を持つソースなどを手動でリストに追加します。
6	Up	リストで選択したソースを一つ上に移動させます。
7	Down	リストで選択したソースを一つ下に移動させます。
8	Edit	リストで選択したソースの設定編集画面を開きます。認証情報（ユーザー名/パスワード）を編集できます。

No	設定項目	機能概要
9	Delete	リストで選択したソースをリストから削除します。
10	Source 1/ Source 2	リストで選択したソースの受信を開始します。「 5.3.4 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - Layout 」の項目で PBP/ PIP を選択すると Source 2 が有効になり、2 つ目のソース映像を選択することができます。

NDI Options/ RTSP Options

NDI Options:

Group Name

Discovery Service

Server IP

RTSP Options:

RTSP Protocol TCP ▼

カテゴリー	設定項目	機能概要
NDI Options	Group Name	本機が属する NDI グループ名を設定します。NDI Access Manager などでグループ単位のアクセス制御を行う際に使用します（パブリックグループの場合は空欄または public）。
	Discovery Service	NDI Discovery Server を使用して NDI ソースの検出を行う場合に有効にし、Discovery Server の IP アドレスを入力します。通常は不要ですが、大規模ネットワークや異なるネットワークセグメント間で NDI を使用する場合に設定します。
	Apply/ Cancel	NDI Options 設定を保存、またはキャンセルします。
RTSP Options	RTSP Protocol	RTSP ストリーミングで使用するトランスポートプロトコルを選択します。
	Apply/ Cancel	RTSP Options 設定を保存、またはキャンセルします。

5.3.3 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - Audio

OIP-N60D の音声に関する設定を行います。画面は Audio In/Out、HDMI Audio Out、Talk Back Audio、Dante Audio(OIP-N60D Dante AV-H のみ)のタブで構成されています。

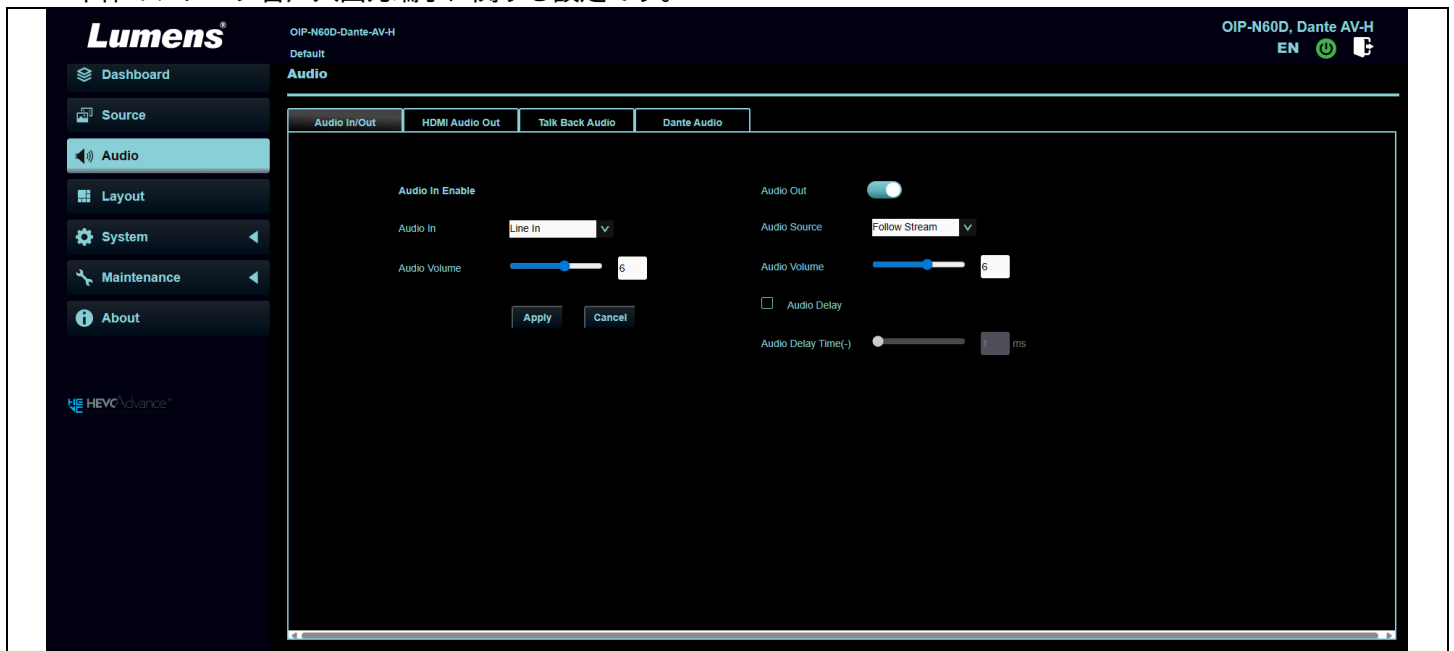
【Dante オーディオ連携 (OIP-N60D Dante AV-H のみ)】

PC 音声を Dante ネットワークへ送信(PC → Dante): USB Type-C ポートに接続された PC の音声を Dante ネットワークへ送信可能です。利用には「5.3.5 System - Output」設定ページで Virtual USB Output を有効にした上で、本項 Dante Audio タブの Audio Source で USB Audio を選択してください。

Dante 音声を PC へ入力(Dante → PC) : Dante ネットワーク上の音声を、本機の USB Type-C ポートに接続した PC へ取り込むことが可能です。Web 会議ソフトのマイク入力などで Dante 音声を使用したい場合に利用します。利用には「5.3.5 System - Output」設定ページの Virtual USB Output の項目で UAC Output に「Follow Dante」を選択してください。これにより、Dante ネットワークから本機が受信した音声が、USB 経由で PC へ伝送されます。

Audio In/Out:

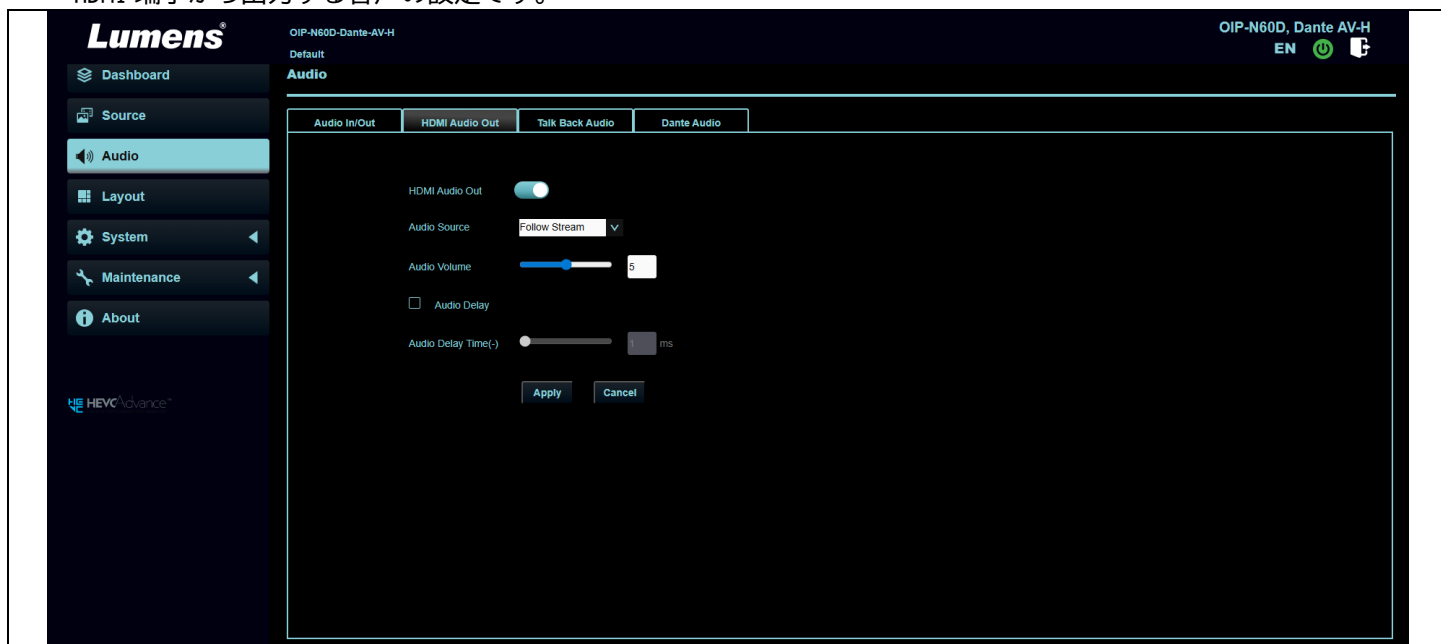
本体のアナログ音声入出力端子に関する設定です。



カテゴリー	設定項目	機能概要
Audio in Enable	Audio In	アナログ入力端子の入力基準レベルをラインレベル / マイクレベルから選択します。
	Audio Volume	アナログ入力の音量を調整します。
	Apply/ Cancel	Audio 設定を保存、またはキャンセルします。
Audio Out	チェックボックス	アナログ出力の有効と無効を切り替えます。
	Audio Source	出力する音声ソースを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ Follow Stream: 現在受信中の映像ストリームに付随する音声を出力します。 ✓ Follow Routing: Lumens Routing Switcher ソフトウェアを使用して設定された経路の音声を出力します。 ✓ Follow Dante: Dante ネットワークから受信した音声を出力します(OIP-N60D Dante AV-H のみ)。
	Audio Volume	アナログ出力ポートの音量を調整します。
	Audio Delay	音声を遅延させる場合にチェックします。映像と音声にずれが発生した場合に補正可能です。
	Audio Delay Time(-)	遅延時間を 1~500ms(ミリ秒)で設定します。

HDMI Audio Out:

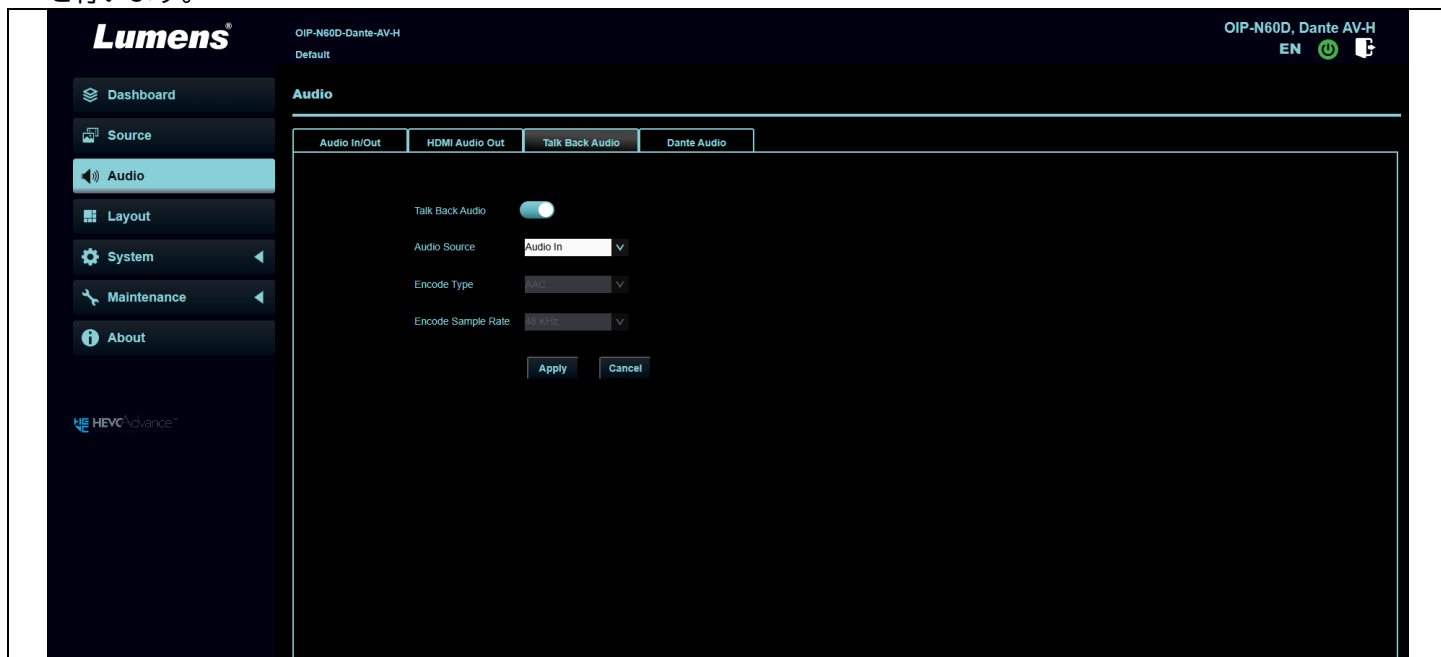
HDMI 端子から出力する音声の設定です。



設定項目	機能概要
HDMI Audio Out	HDMI 出力音声の有効と無効を切り替えます。
Audio Source	HDMI 端子から出力する音声の設定です。 ✓ Follow Stream: 現在受信中の映像ストリームに付随する音声を出力します。 ✓ Follow Routing: Lumens Routing Switcher ソフトウェアを使用して設定された経路の音声を出力します。 ✓ Follow Dante: Dante ネットワークから受信した音声を出力します(OIP-N60D Dante AV-Hのみ)。
Audio Volume	アナログ出力ポートの音量を調整します。
Audio Delay	音声を遅延させる場合にチェックします。映像と音声にずれが発生した場合に補正可能です。
Audio Delay Time(-)	遅延時間を 1~500ms(ミリ秒)で設定します。

HDMI Audio Out:

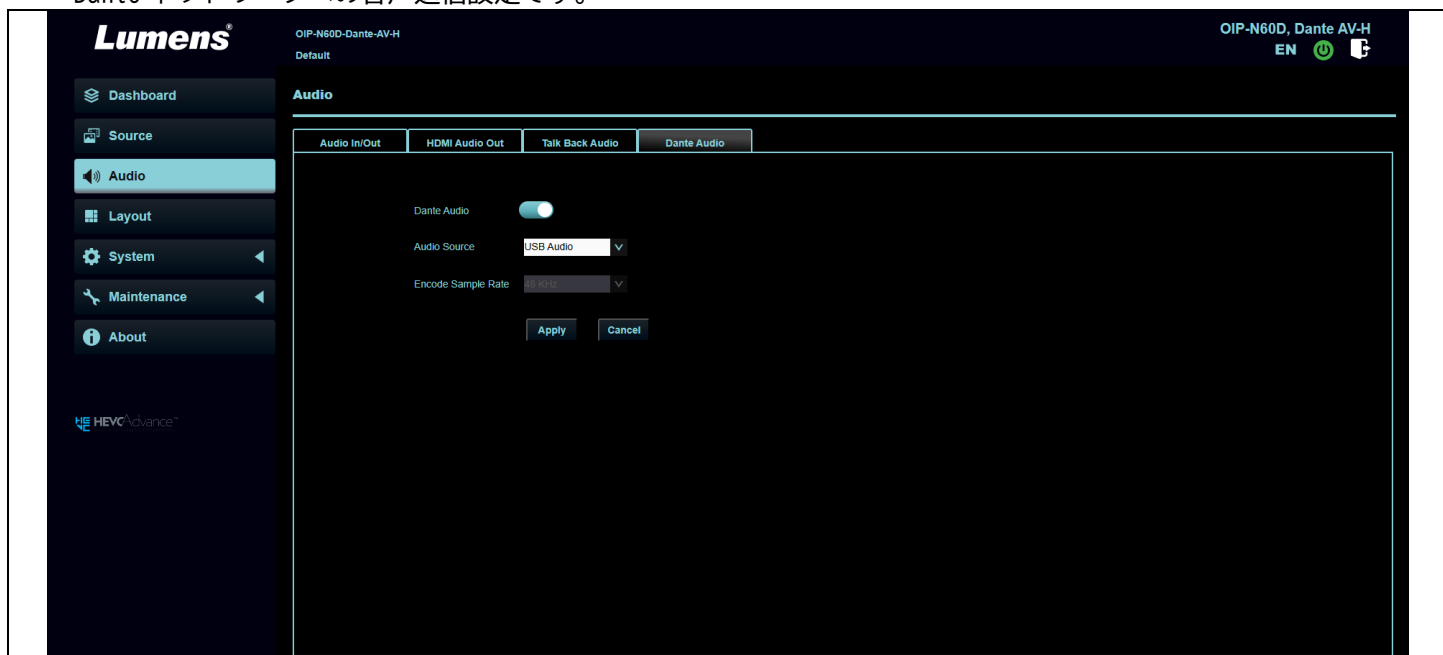
本機に入力された音声を、ネットワーク経由で映像の送信元のエンコーダーへ送り返すトークバック機能の設定を行います。



設定項目	機能概要
Talk Back Audio	トークバック機能の有効と無効を切り替えます。
Audio Source	エンコーダーへ送り返す音声ソースを選択します。 ✓ Audio in: 本体のアナログ入力端子に接続されたマイクなどの音声を使用します。 ✓ USB Audio: USB Type-C ポートに接続された PC の音声を使用します。
Encode Type	音声エンコード方式の設定値です。AAC に固定されています。
Encode Sample Rate	サンプルレートの設定値です。48 KHz に固定されています。
Apply/ Cancel	設定を保存、またはキャンセルします。

Dante Audio タブ(OIP-N60D Dante AV-Hのみ):

Dante ネットワークへの音声送信設定です。



設定項目	機能概要
Dante Audio	Dante ネットワークへの音声送信の有効と無効を切り替えます。
Audio Source	Dante へ送信する音声ソースを選択します。 ✓ Audio in: 本体のアナログ入力端子に接続されたマイクなどの音声を使用します。 ✓ USB Audio: USB Type-C ポートに接続された PC の音声を使用します。
Encode Sample Rate	サンプルレートの設定値です。48 KHz に固定されています。
Apply/ Cancel	設定を保存、またはキャンセルします。

5.3.4 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - Layout

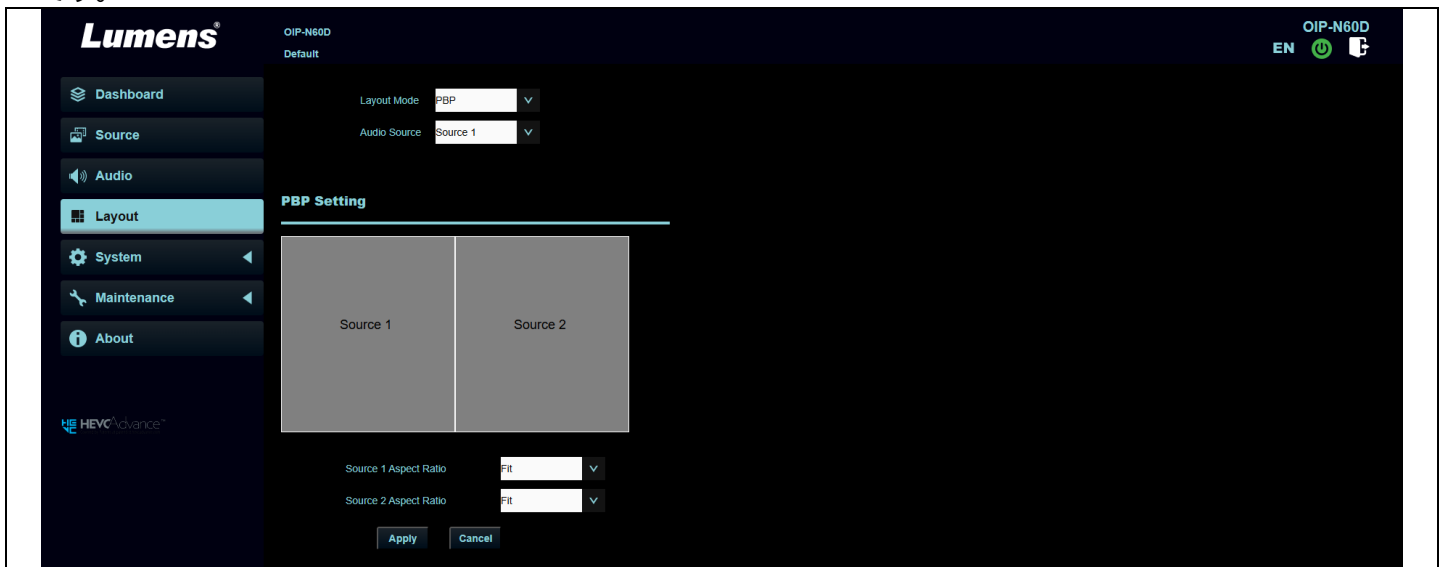
本項目では、複数の映像ソースを1つの画面に合成して表示する「マルチビュー」機能や、複数のディスプレイを1つの大きな画面として扱う「ビデオウォール」機能のレイアウトを設定します。

「Layout Model」の項目で、以下のいずれかを選択してください。

- ✓ OFF: マルチビュー機能を無効にし、選択した1つの映像ソースを全画面で表示します（シングル表示）。
- ✓ PBP: 2つの映像ソースを画面の左右に並べて表示します（ピクチャー・バイ・ピクチャー）。
- ✓ PIP: メインの映像ソースを全画面で表示し、その隅にもう1つの映像ソースを小窓で重ねて表示します（ピクチャー・イン・ピクチャー）。
- ✓ TV Wall: 複数のディスプレイを組み合わせ、1つの巨大な映像を表示するビデオウォール機能です。最大で3x3（合計9台）のディスプレイに対応し、各デコーダーに全体映像のどの部分を表示させるかを割り当てることで設定します。

PBP Setting:

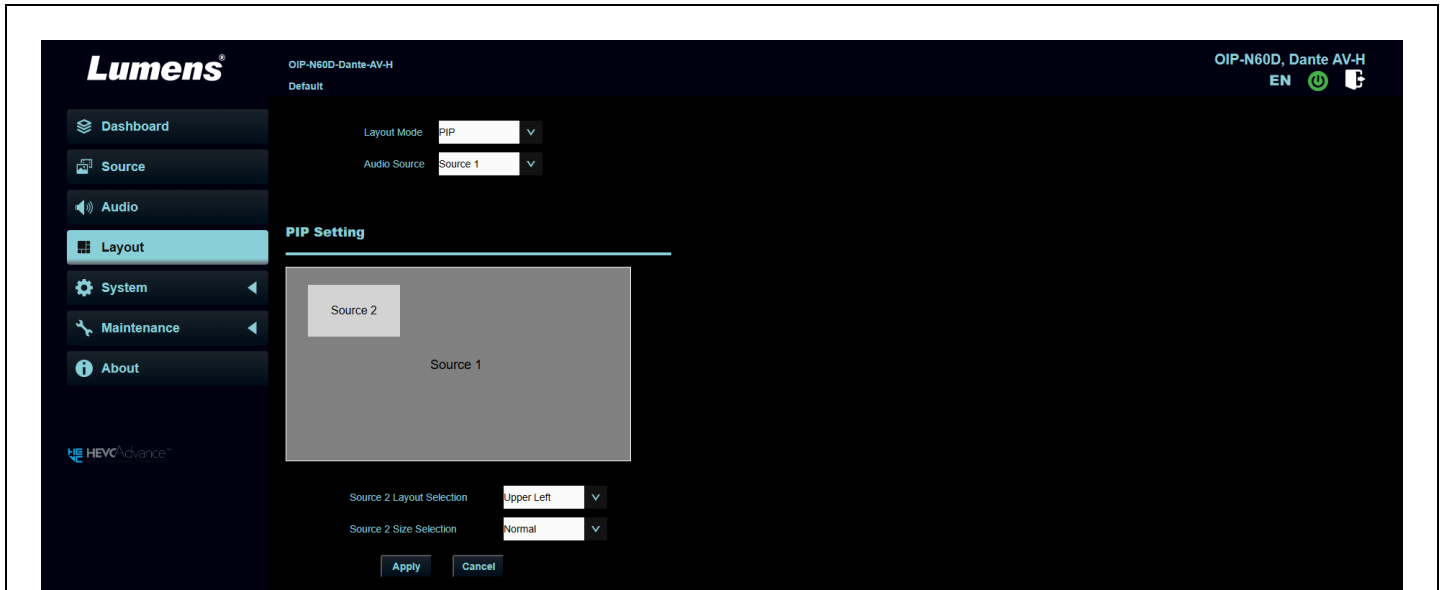
PBP（ピクチャー・バイ・ピクチャー）モードでは、2つの映像ソースを画面の左右に並べて表示します。表示する各映像のアスペクト比を設定できるほか、出力する音声ソースをどちらのソースにするか選択することが可能です。



カテゴリー	設定項目	機能概要
Layout Model	OFF/ PBP/ PIP/ TV Wall	表示レイアウトのモードを選択します
Audio Source	Source 1/ Source 2	PBP 表示中に、どちらの映像ソースの音声出力するかを選択します。
Source 1 Aspect Ratio	Fit/ Full Screen	PBP の左側に表示する映像（Source 1）のアスペクト比（縦横比）を設定します。 ✓ Fit: 元の映像のアスペクト比を維持して表示します。 ✓ Full Screen: 映像を引き伸ばし、PBP の表示領域全体に表示します。
Source 2 Aspect Ratio	Fit/ Full Screen	PBP の右側に表示する映像（Source 2）のアスペクト比（縦横比）を設定します。 ✓ Fit: 元の映像のアスペクト比を維持して表示します。 ✓ Full Screen: 映像を引き伸ばし、PBP の表示領域全体に表示します。

PIP Setting:

PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）モードでは、全画面表示されるメイン映像の上に別の映像を小窓として重ねて表示します。小窓の表示位置を選択できるほか、どちらの映像ソースの音声を出力するかを設定できます。



カテゴリ	設定項目	機能概要
Layout Model	OFF/ PBP/ PIP/ TV Wall	表示レイアウトのモードを選択します
Audio Source	Source 1/ Source 2	PIP 表示中に、どちらの映像ソースの音声を出力するかを選択します。
Source 2 Layout Selection	Upper Left/ Upper Right/ Lower Left/ Lower Right	メイン画面上のどこに Source 2 を配置するかを選択します。 ✓ Upper Left: 画面左上に配置します。 ✓ Upper Right: 画面右上に配置します。 ✓ Lower Left: 画面左下に配置します。 ✓ Lower Right: 画面右下に配置します。
Source 2 Size Selection	Small/ Nomal/ Large	メイン画面に対する Source 2 のサイズを選択します。 ✓ Small: 小 ✓ Nomal: 中 ✓ Large: 大

TV Wall Setting:

TV Wall モードでは、最大 9 台のディスプレイを組み合わせて 1 つの巨大な画面を構成します。各デコーダーに全体映像のどの部分を表示させるかを割り当てることで、大規模なビデオウォールを構築できます。

Layout Model TV Wall ▼

Bezel and Gap Compensation

Overall Width(OW) 0

Overall Height(OH) 0

Video Width(VW) 0

Video Height(VH) 0

UNIT: 0.1mm

Video Wall Setting

Horizontal Monitor Count 1 ▼

Vertical Monitor Count 1 ▼

Horizontal-Position A ▼

Vertical-Position 1 ▼

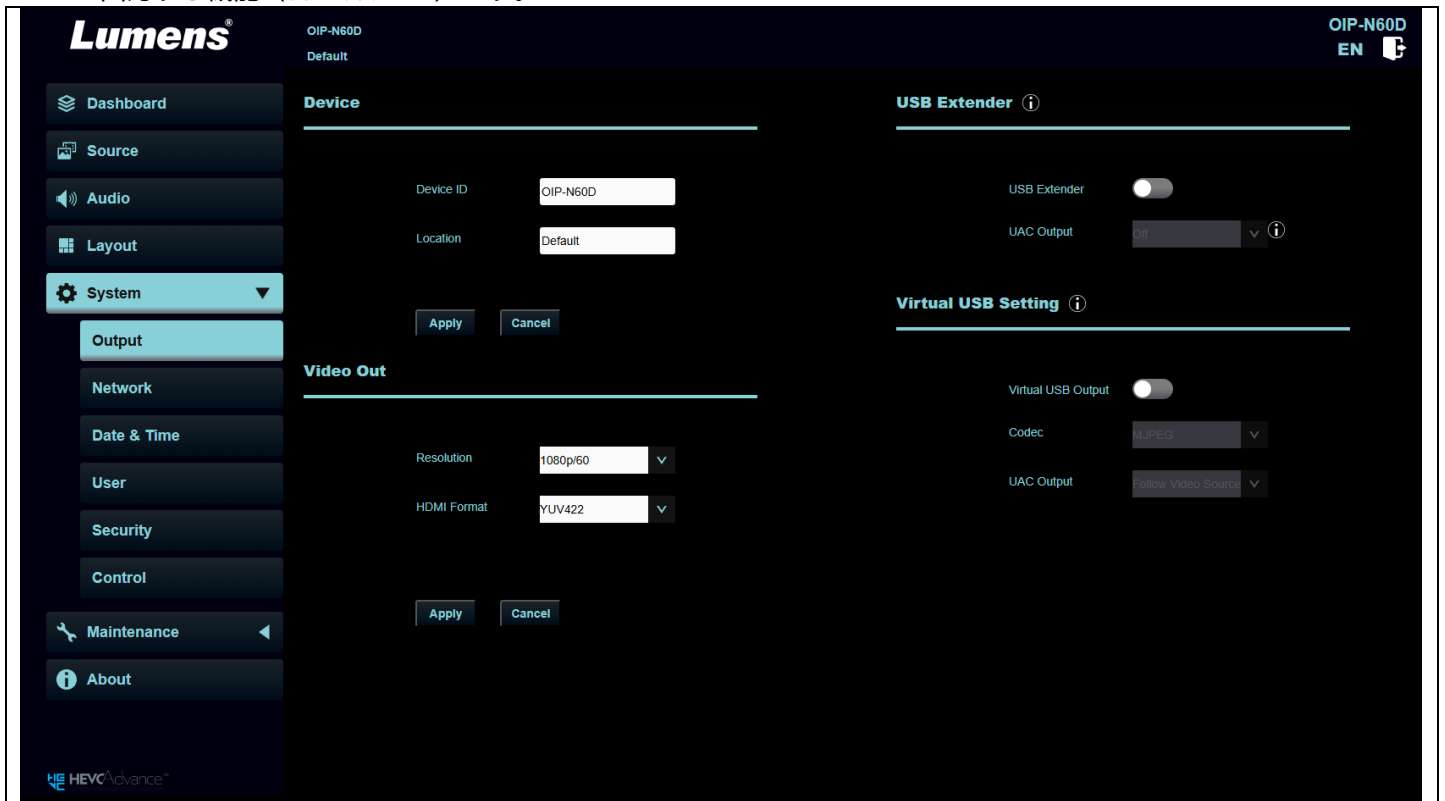
Apply
Cancel

カテゴリー	設定項目	機能概要
Bezel and Gap Compensation	Overall Width(OW)	ベゼル（ディスプレイの枠）を含む、ビデオウォール全体の物理的な幅（mm）を設定します。
	Overall Height(OH)	ベゼルを含む、ビデオウォール全体の物理的な高さ（mm）を設定します。
	Video Width(VW)	1 台のディスプレイの、ベゼルを含まない実際の表示領域の幅（mm）を設定します。
	Video Height(VH)	1 台のディスプレイの、ベゼルを含まない実際の表示領域の高さ（mm）を設定します。
Video Wall Setting	Horizontal Monitor Count	ビデオウォールを構成するディスプレイの水平（横）の枚数を設定します。
	Vertical Monitor Count	ビデオウォールを構成するディスプレイの垂直（縦）の枚数を設定します。
	Horizontal-Position	ウォール全体の中で、このデコーダーが担当する画面の水平（横）の位置を指定します。
	Vertical-Position	ウォール全体の中で、このデコーダーが担当する画面の垂直（縦）の位置を指定します。
-	Apply/ Cancel	設定を保存、またはキャンセルします。

5.3.5 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System Output

本項目では、デバイスの識別情報、HDMI 出力、および 2 種類の USB 機能 (Virtual USB / USB Extender) に関する設定を行います。

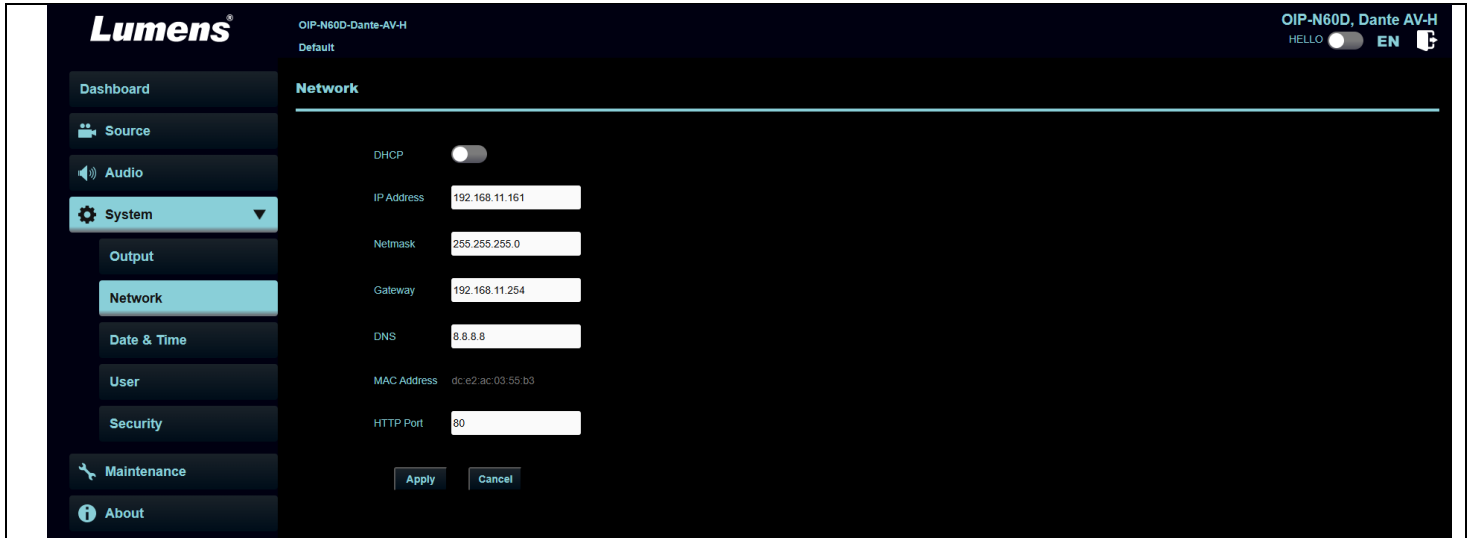
- ✓ Virtual USB: IP ネットワーク経由で受信した映像/音声を、本機の USB Type-C ポートから PC へ「USB カメラ/マイク」として出力する機能です。ドライバ不要で PC の Web 会議アプリ等で利用できます。
注意: ビデオ出力は 1080@30fps 以下の解像度/フレームレートで利用可能です。
- ✓ USB Extender: 本機の USB Type-A ポートに接続した USB カメラ、USB オーディオデバイスなどを、IP ネットワーク経由で OIP エンコーダーに送受信する機能です。エンコーダーに接続された PC で、USB カメラ(UVC)および USB オーディオ(UAC)デバイスとして USB Type-C ポートから PC に最大 4K30 の解像度/フレームレートで出力する機能 (USB over IP) です。



カテゴリー	設定項目	機能概要
Device	Device ID	デバイス名 (本機の名前) を設定します。1~12 文字、英数字のみ使用可 (特殊記号・スペース不可)。NDI ソース名や ONVIF 検出名にも影響します。
	Location	デバイスの設置場所などを示すロケーション名を設定します。1~11 文字、英数字のみ使用可 (特殊記号・スペース不可)。NDI メタデータや ONVIF 情報に含まれます。
	Apply/ Cancel	Device 設定を保存、またはキャンセルします。
Video Output	Resolution	HDMI 出力解像度を設定します。接続されたディスプレイに対応していない解像度は選択できません。
	HDMI Format	HDMI 出力フォーマットを RGB/ YUV444/ YUV422 から選択できます。
	CEC Mode	CEC(Consumer Electronics Control)の有効/ 無効を切り替えます。
	Apply/ Cancel	Video Output 設定を保存、またはキャンセルします。
USB Extender	USB Extender	USB Extender 機能の有効/ 無効を切り替えます。
	UAC Output	USB Type-A ポートに接続されている USB オーディオデバイスから、使用するデバイスを選択します。
Virtual USB Setting	Virtual USB Output	Virtual USB 機能の有効/ 無効を切り替えます。
	Codec	PC へ出力する際の映像コーデックです。MJPEG に固定されています。
	UAC Output	USB Audio (UAC)として PC に送信する音声ソースを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ OFF: 送信しません。 ✓ Follow Video Source: ビデオソースの音声を送信します。 ✓ Follow Dante: Dante ネットワークから受信した音声を送信します。(OIP-N60D Dante AV-H モデルのみ) ✓ Follow Routing: Lumens Routing Switcher ソフトウェアを使用して設定された経路の音声を送信します。

5.3.6 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System Network

本設定項目では、OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-Hの IP アドレス設定、MAC アドレスの確認、外部制御などを使用する HTTP ポート番号の設定を行うことができます。

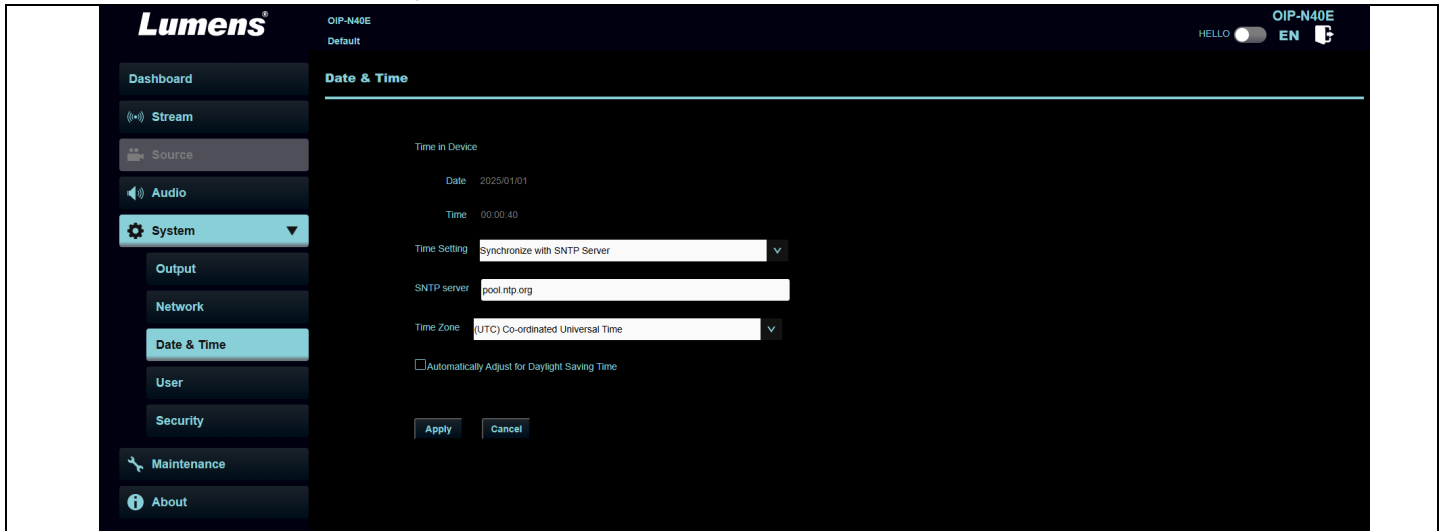


設定項目	機能概要
DHCP	IP アドレスの取得方法を設定します。 ✓ 有効: DHCP (自動取得) にします。 ✓ 無効: Static (固定 IP アドレス) にします。
IP Address	IP アドレスの取得方法で Static (固定) を選択した場合に、本機の IP アドレスを設定します。
Netmask	IP アドレスの取得方法で Static (固定) を選択した場合に、サブネットマスクを設定します。
Gateway	IP アドレスの取得方法で Static (固定) を選択した場合に、デフォルトゲートウェイを設定します。
DNS	IP アドレスの取得方法で Static (固定) を選択した場合に、DNS サーバーのアドレスを設定します。
MAC Address	本機の MAC アドレスを表示します。
HTTP Port	API 制御に使用する HTTP ポート番号を設定します (デフォルト値: 80)。
Apply/ Cancel	Network 設定を保存、またはキャンセルします。

5.3.7 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System Date & Time

本設定項目では、OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H の内部時計の日付と時刻を設定します。時刻設定モード (Time Setting Mode)には3つのオプションがあります。

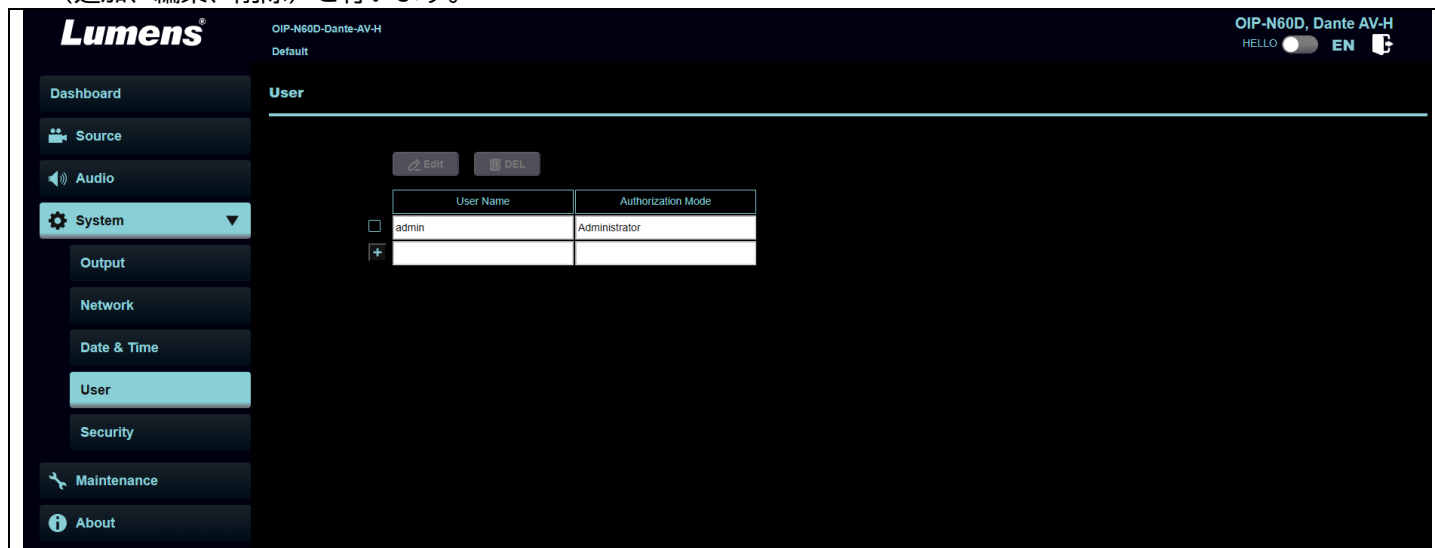
- ✓ 手動設定 (Set Manually)
- ✓ PC 時刻と同期 (Synchronize with Computer Time)
- ✓ SNTP サーバーと同期 (Synchronize with SNTP Server)



カテゴリー	設定項目	機能概要
Time in Device	Date	現在の日付を表示します。
	Time	現在の時刻を表示します。
Set Manually	Time Setting	Set Manually を選択すると、手動で時刻を設定することができます。
	Date	設定したい日付を手動で入力または選択します。
	Hours/ Minutes/ Seconds	設定したい時刻 (時・分・秒) を手動で入力します。
	Apply/ Cancel	時刻設定を保存、またはキャンセルします。
Synchronize with Computer Time	Time Setting	Synchronize with Computer Time を選択すると、接続している PC の時刻と OIP-N40E の時刻設定が同期します。
	Apply/ Cancel	Apply を押下すると、PC の現在時刻と同期します。
Synchronize with SNTP Server	Time Setting	Synchronize with SNTP Server を選択すると、指定した SNTP サーバーと時刻が同期します。
	SNTP server	同期に使用する SNTP サーバーのアドレス (URL または IP アドレス) を入力します。
	Time Zone	設置場所に合わせてタイムゾーンを選択します。
	Automatically Adjust for Daylight Saving Time	選択したタイムゾーンで夏時間 (Daylight Saving Time) が実施される場合に、自動で時刻を調整するかどうかを設定します。
	Apply/ Cancel	時刻設定を保存、またはキャンセルします。

5.3.8 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System User

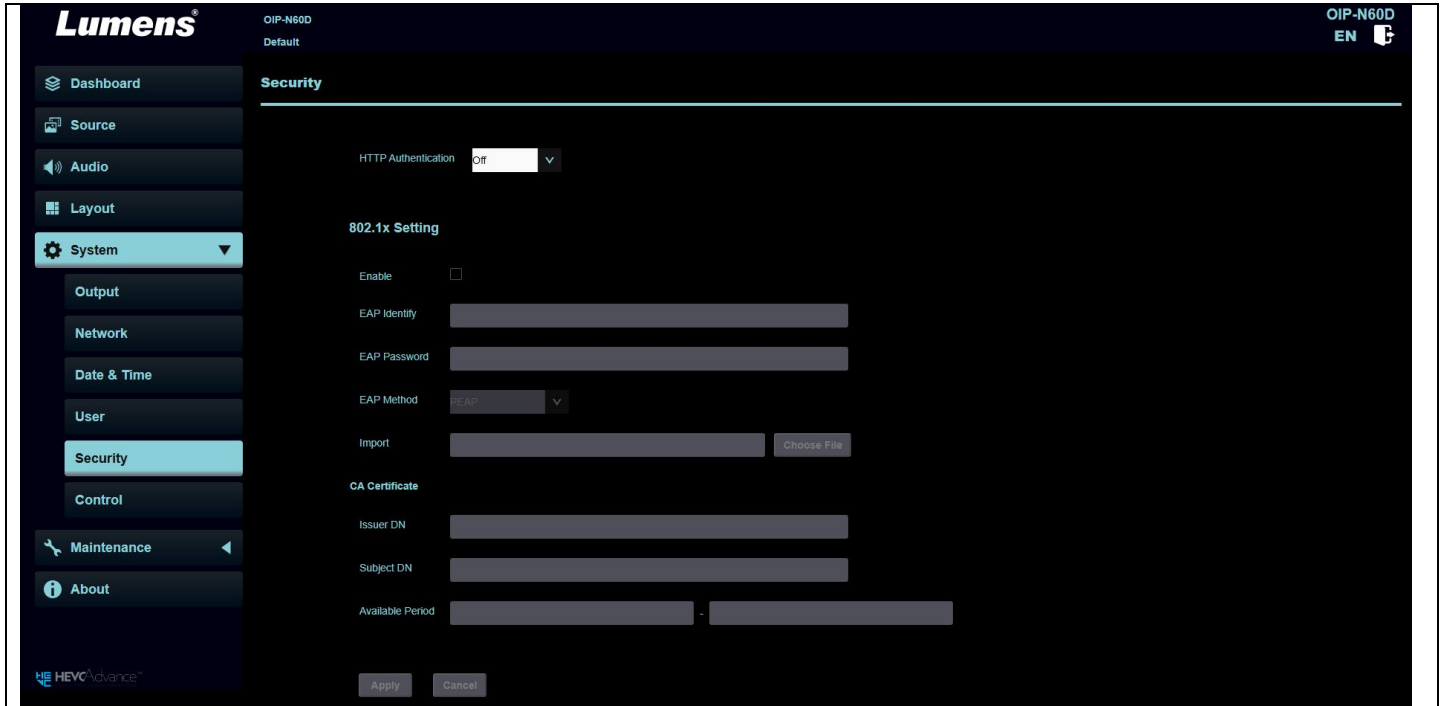
本設定項目では、OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H の Web GUI にログインするためのユーザーアカウントの管理（追加、編集、削除）を行います。



項目	機能概要
Edit	リストで選択したユーザーの編集画面を開きます。編集画面では、パスワードの変更ができます。
DEL	リストで選択したユーザーを削除します。Administrator 権限のユーザーは削除できません。
User Name	ユーザー名を表示します。
Authorization Mode	ユーザーに与えられている権限を表示します。 ✓ Administrator: すべての設定項目を参照、変更ができます。 ✓ Viewer: Dashboard の情報閲覧、System Output の「Virtual USB Setting」 「Extender Source List」 の設定変更ができます。

5.3.9 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System Security

本設定項目では、OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H の HTTP アクセス認証に関するセキュリティ設定を行います。HTTP 認証は、Web GUI や外部制御時に使用されます



カテゴリー	設項目	機能概要
HTTP Authentication	HTTP Authentication	HTTP 認証方式を選択します。 ✓ Off: 認証なし。 ✓ Basic: ベーシック認証。 ✓ Digest: ダイジェスト認証。
802.1x Setting	Enable	IEEE 802.1X 認証機能を有効にする場合にチェックを入れます。この機能を有効にするには、ルーターが 802.1x プロトコルをサポートしている必要があります。
	EAP Identify	認証で使用する ID (ユーザー名など) を入力します。
	EAP Password	認証で使用するパスワードを入力します。
	EAP Method	認証に使用する EAP 方式を選択します。
	Import	EAP-TLS などの認証方式に必要なクライアント証明書や秘密鍵ファイルをインポートします。
CA Certificate	Issuer DN	インポートされた CA 証明書の発行者識別名 (Distinguished Name, DN) を表示します。
	Subject DN	インポートされた CA 証明書のサブジェクト識別名 (Distinguished Name, DN) を表示します。
	Available Period	インポートされた CA 証明書の有効期間を表示します。
-	Apply/ Cancel	802.1x 設定を保存、またはキャンセルします。

5.3.10 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - System Settings

本項目では、デバイスの高度な制御設定を行います。画面は Voice Connect(OIP-N60D のみ)、Custom Image、CEC の3つのタブで構成されています。

Voice Connect:

Lumens VC-TR60A と連携し、カメラのマイクが検知した音声に基づいてカメラ映像を自動的に切り替える機能の設定を行います。



カテゴリー	設定項目	機能概要
Voice Connect Mode	チェックボックス	Voice Connect 機能の有効/無効を切り替えます。
Camera Setting (No.1 - 4)	Camera IP	連携するカメラの IP アドレスを入力します。
	Camera Stream URL	カメラの映像ストリームの URL を入力します。※RTSP のみ対応
	Priority	複数のカメラが同時に音声を検知した場合の優先順位を設定します。
	Read Value(dB)	カメラから現在受信している音声レベルの実測値を表示します。
	Compensation Value	設置環境やカメラ個体差による音声レベルのばらつきを補正するための補正值を入力します。
	Corrected Value(dB)	実測値に補正值を加味した、最終的な判定用の音声レベルを表示します。
Voice Trigger Settings	Voice Trigger Level (dB)	切り替えをトリガーする音声しきい値を設定します。
	Trigger Delay Time(s)	音声を検知してから映像が切り替わるまでの遅延時間を設定します。
	No Voice Trigger Action	無音状態が続いた際の自動切り替え動作の有効/無効を切り替えます。 ✓ Specify: 有効 ✓ Not Specified: 無効
	No Voice Duration(s)	無音状態と判断するまでの時間を設定します。
	Screen Switch URL	無音時に表示させる映像ストリームの URL を入力します。
	Conversation Detection	会話検知機能の有効/無効を切り替えます。
	Screen Switch URL	会話検知時に表示させる映像ストリームの URL を入力します。
	Multi-Voice Frequency	会話中と判定するために必要なカメラ切り替え回数を 3~6 回の間で設定します。
	Multi-Voice Time(s)	会話判定を行うための監視時間を設定します。この時間内に規定の切り替え回数に達すると会話モードへ移行します。
Multi-Voice Release Time(s)	会話終了後に通常モードへ復帰するまでの待機時間を設定します。	

【Voice Connect の仕組み】

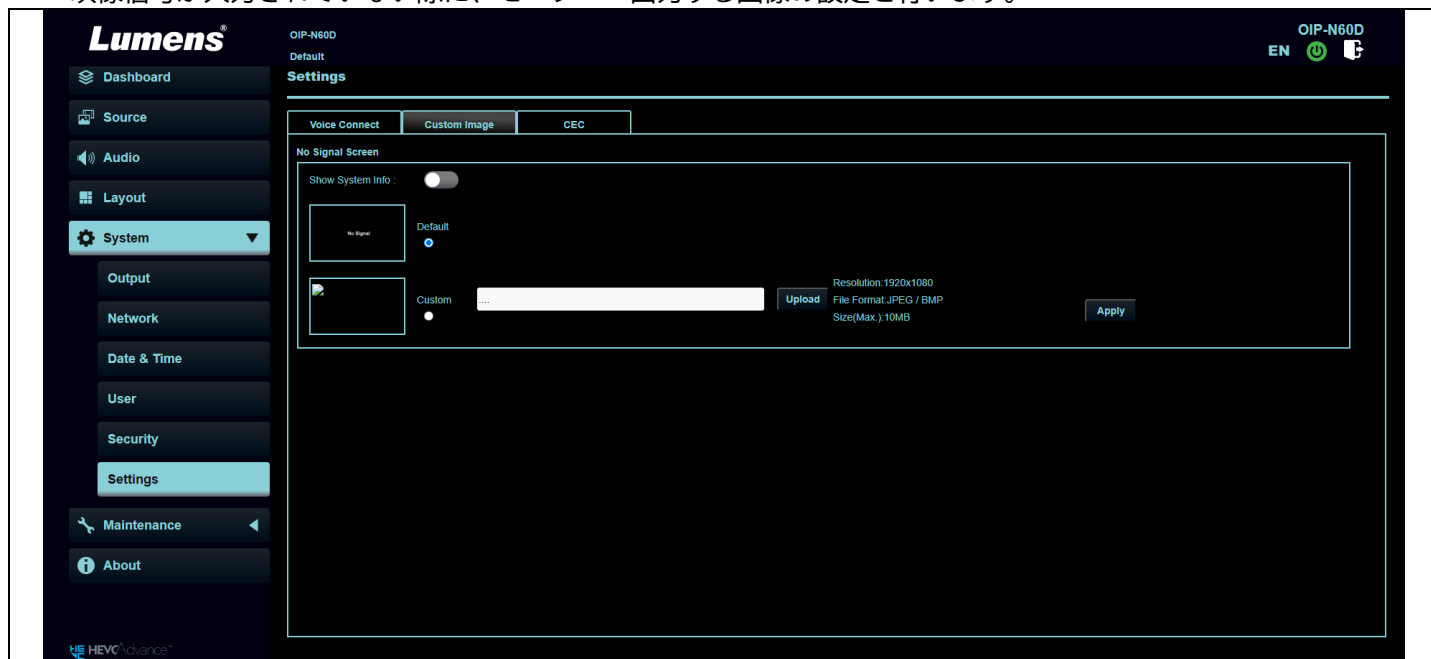
- ✓ **音声検知:** 接続されている複数のカメラのうち、集音音量が最も大きいカメラの情報を OIP-N60D が受信します。
- ✓ **自動切り替え:** OIP-N60D は、最も大きな音量を検知したカメラの映像へ自動的に切り替えます。なお、話者の追跡自体はカメラ側の機能として動作します。
- ✓ **無音時の動作:** 音声が一時間検知されない場合に、特定の個人にフォーカスし続けるのを避けるため、あらかじめ指定したカメラへ切り替えることが可能です。また特定の VC-TR60A のパノラマレンズの映像を指定することも可能です。
- ✓ **会話検知 (Conversation Detection):** 2 名以上の話者が交互に発言している会話状態をシステムが認識する機能です。会話を検知すると、あらかじめ設定した特定のカメラ映像、またはパノラマレンズ映像へ自動的に切り替えることができます。これにより、対談中に頻繁にカメラが切り替わるのを防ぎ、安定した映像を提供します。
- ✓ **パノラマレンズの指定方法:** 特定の VC-TR60A のパノラマカメラを指定する場合、以下の URL 形式を入力してください。

`rtsp://[カメラの IP アドレス]:8553/h264`

【対応プロトコルについて】 Voice Connect 機能は、RTSP プロトコルのみに対応しています。NDI、RTMP、および Dante AV-H プロトコルによるストリーム映像は、本機能の制御対象として使用することはできません。

Custom Image:

映像信号が入力されていない際に、モニターへ出力する画像の設定を行います。



カテゴリー	設定項目	機能概要
No Signal Screen	Show System Info	無信号画面上に、IP アドレスなどのシステム情報を表示するかどうかを切り替えます。
	Default	システム標準の「No Signal」画像を表示する場合に選択します。
	Default	ユーザーが任意で作成した画像を表示する場合に選択します。
	Upload	任意の画像ファイルをデバイスへアップロードします。
	Apply	設定を保存します。

【カスタム画像の仕様について】

Custom モードで独自の画像をアップロードして使用する場合は、以下の要件を満たしている必要があります。

- ✓ 解像度: 1920 x 1080
- ✓ ファイル形式: JPEG または BMP
- ✓ ファイルサイズ: 最大 10MB

注記: 画像を選択、アップロードした後は、画面右下の Apply ボタンをクリックして設定を保存してください。

CEC:

CEC (Consumer Electronics Control) を利用し、接続されたディスプレイやプロジェクターなどの外部機器と電源入出力を連動させるための設定を行います。



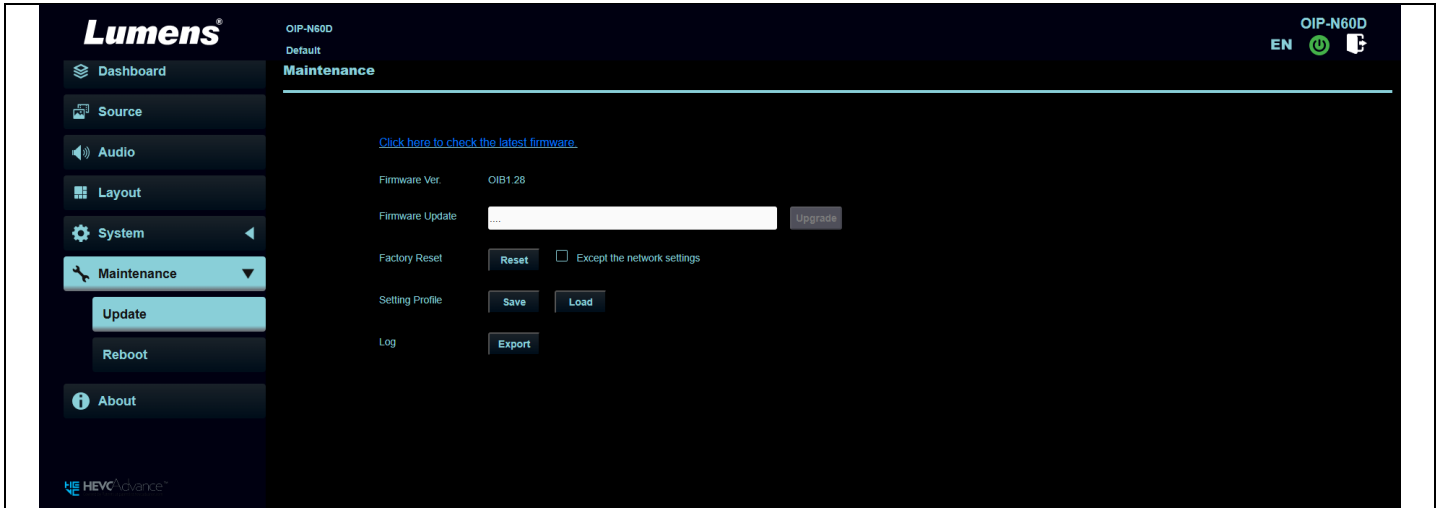
カテゴリー	設定項目	機能概要
CEC	HDMI CEC	HDMI CEC 機能全体の有効/無効を切り替えます。
	Auto Device On	映像信号を検知した際に連動して、接続機器の電源を自動的にオンにするかどうかを設定します。
	Auto Device Off	無信号状態が継続し、設定した Delay Time が経過した際に、接続機器の電源を自動的にオフにします。
	Delay Time	電源連動コマンドを送信するまでの遅延時間を設定します。
	Apply/ Cancel	CEC 設定を保存、またはキャンセルします。

【CEC 機能利用時の注意】

- ✓ 接続先のディスプレイやモニター側でも、CEC 機能を有効に設定する必要があります。
- ✓ 設定を変更した後は、Apply ボタンをクリックして保存してください。

5.3.11 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - Maintenance Update

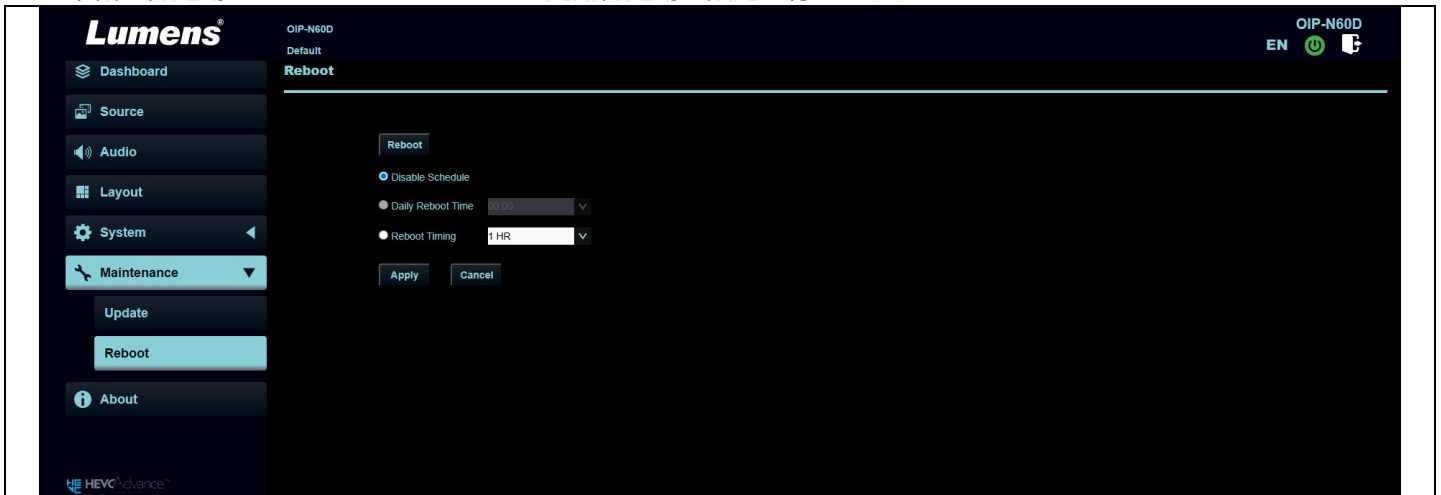
本設定項目では、OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-Hのファームウェア管理（バージョン確認、アップデート）、工場出荷時へのリセット、および設定内容のバックアップ（保存/読み込み）を行います。



項目	機能概要
Firmware Ver	現在のファームウェアバージョンを表示します。
Firmware Update	ファームウェアをアップデートします。フィールドをクリックするとファイル選択画面が開くので、新しいファームウェアファイルを指定します。最新のファームウェアは、Lumens の Web ページ よりダウンロードしてください。
Factory Reset	Reset ボタンを押すと、確認後、本機の全ての設定が工場出荷時の状態に初期化されます。IP アドレス取得方法は DHCP に戻ります。
Setting Profile	設定プロファイルを保存、ロードします。

5.3.12 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - Maintenance Reboot

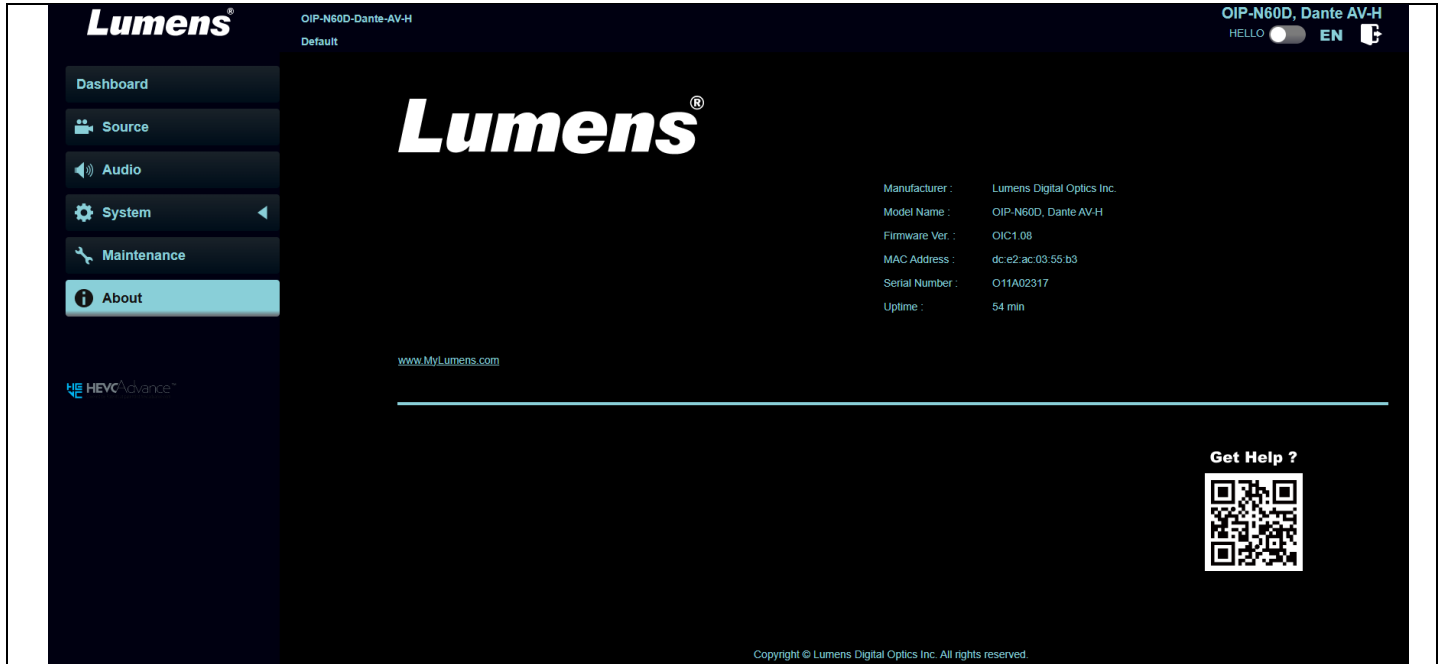
本機の再起動およびスケジュールによる定期再起動の設定を行います。



カテゴリー	設定項目	機能概要
System Control	Reboot	本機を再起動します。Reboot ボタンをクリックすると、実行を確認するためのポップアップが表示されます。
Schedule Reboot	Disable Schedule	自動再起動を行いません。
	Daily Reboot Time	毎日指定時刻に実行します。「Date & Time」タブで Synchronize with SNTP Server が有効な場合のみ選択可能です。
	Reboot Timing	累積稼働時間に基づいて再起動を実行します。
-	Apply/ Cancel	Reboot 設定を保存、またはキャンセルします。

5.3.13 OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-H - About

本画面では、OIP-N60D/ OIP-N60D Dante AV-Hの基本的な製品情報、ファームウェアバージョン、ネットワーク情報、稼働時間などを確認できます。



項目	機能概要
Manufacturer	製造元メーカー名を表示します。
Model Name	本機のモデル名を表示します。
Firmware Ver	現在インストールされているファームウェアのバージョンを表示します。
MAC Address	本機のネットワークインターフェースのMACアドレスを表示します。
Serial Number	本機の製造番号（シリアルナンバー）を表示します。
Uptime	本機が最後に起動してからの経過時間（稼働時間）を表示します。

Chapter 6 トラブルシューティング

本章では、本製品の使用中に発生する可能性のある問題とその解決策について説明します。

No.	問題	解決策
1	映像が表示されない (OIP-N40E)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ケーブルが奥まで完全に接続されているか確認してください。 ✓ 接続機器の出力解像度設定が、本機の対応入力解像度である 1080p または 720p に設定されていることを確認してください。 ✓ 使用する USB Type-C ケーブルは、伝送速度 10Gbps 以上の規格で DisplayPort Alternate Mode に対応している必要があります。 ✓ 接続する PC の USB ポート自体が DisplayPort Alternate Mode による映像出力に対応しているか確認してください。 ✓ 本機は HDCP 非対応のため、著作権保護されたコンテンツを入力しても映像は表示されません。
2	機器が検出されない 映像や音声不安定	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本機の初期 IP アドレス設定は DHCP ですが、リンクローカルにも対応しています。デバイスの IP アドレスを特定するには、Lumens Routing Switcher ソフトウェアを使用するか、本体の HDMI OUT にディスプレイを接続してください。無信号時には画面上に IP アドレスが表示されます。 ✓ ネットワークスイッチが、すべてのポートで 1Gbps 伝送に対応しているか確認してください。省電力機能の EEE は無効に設定することを推奨します。 ✓ QoS 設定では 4 つのキューを確保し、スケジューアルゴリズムには Strict Priority (SP) を選択してください。これは、100Mbps と 1Gbps のデバイスが混在する環境において、リアルタイム性が求められる映像パケットを優先的に処理するために必要です。 ✓ マルチキャスト運用時は、スイッチの IGMP Snooping を有効にし、マルチキャストパケットのブロック設定が解除されていることを確認してください。
3	Virtual USB 機能に関する制限	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Virtual USB 機能を利用した PC への映像出力は、最大解像度が 1080p、フレームレートが 30fps までに制限されます。これを超える設定値では正常に映像が出力されない可能性があるため設定を確認してください。 ✓ 本機能を使用するには、OIP-N40E と OIP-N60D の両方の設定で「Virtual USB」機能を有効にする必要があります。 ✓ Virtual USB と USB Extender は排他的な機能であり同時使用はできません。運用目的に応じていずれか一方のみを有効に設定してください。
4	USB Extender 機能に関する制限	<ul style="list-style-type: none"> ✓ USB Extender 機能は最大 4K30 の解像度で映像伝送が可能です。接続機器の解像度がこの範囲内であることを確認してください。 ✓ 本機能を使用するには、OIP-N40E と OIP-N60D の両方の設定で「USB Extender」機能を有効にする必要があります。 ✓ Virtual USB と USB Extender は排他的な機能であり同時使用はできません。運用目的に応じていずれか一方のみを有効に設定してください。
5	Dante 音声を送受信されない	<ul style="list-style-type: none"> ✓ OIP-N40E で Dante Audio 機能を使用するには、別途 Dante Ready のアクティベーションを完了させる必要があります。アクティベーションは Dante Controller からおこなうことができます。

Chapter 7 Copyright Information

Copyrights © Lumens Digital Optics Inc. All rights reserved.
Lumens は、Lumens Digital Optics Inc. が現在登録中の商標です。

本ファイルのコピー、複製、送信は、本製品購入後のバックアップを目的とする場合を除き、Lumens Digital Optics Inc. からライセンスを受けていない場合、禁止されています。

本ファイルは、製品改良のため予告なく変更することがあります。

本書は、本製品の使用方法を十分に説明するために、他の製品名や会社名を引用することがありますが、著作権を侵害するものではありません。

保証の免責事項 Lumens Digital Optics Inc. は、技術的、編集上の誤りや脱落の可能性、および本ファイルの提供、本製品の使用または操作に起因する偶発的または関連する損害について責任を負いません。

AUDIO))) BRAINS

〒216-0033 神奈川県川崎市宮前区宮崎 649-3

TEL : 044-888-6761

<https://audiobrains.com/>

2026/02